

本計画の本編は令和5年3月市議会にて審議した資料です。参考資料は以前に審議した資料を抜粋して掲載しています。

糸魚川市 駅北子育て支援複合施設 基本計画

令和5年3月



糸 魚 川 市

ごあいさつ

市では、令和4年度から第3次総合計画が始まり、「人口減少対策」と「住み続けたいくなるまちづくり」を重点課題と捉え、健康、地域経済、教育を重点項目として施策を進めています。

国内全体がその傾向にあるように、当市も人口減少に伴う経済規模の縮小、社会保障制度と財政の持続性へのリスクの高まりにより、これまでの水準以上の社会維持が困難になることが懸念されています。このようななか、市では、駅北大火後のにぎわいあるまちづくりを進めるうえで、人の流れをまちなかに呼び込むことができる魅力と活力に満ちた都市拠点の整備が求められています。

一方で、未来を担う子どもたちが、予測困難な社会においても、時代の変化に対応し、ふるさとに愛着と誇りを持ち、自らの力で道を切り開く力を養うことができる環境、そして、社会を支える子育て世代が、希望と自信を持って安心して出産・育児ができる環境づくりも大きく求められています。これには、子どもに関わる地域関係者の連携を図り、個々の家庭環境に応じた支援や相談体制となるよう、地域と社会が一体となった子育て環境の充実を図ることが必須であり、持続可能な地域の未来である子どもたちへの先行投資として、関連施策を力強く推進していく必要があります。

未来を担う子どもたち、
その お父さん、お母さん、
また おじいちゃん、おばあちゃん、
見守る 近所のおじちゃん、おばちゃんのために
まちなかに 子育てしやすい環境を整備することで
困難な状況をなんとかしたい

子育て支援の拠点として、
市民交流の核の一つとして、
市民のさらなる豊かな暮らしを願い
(仮称) 駅北子育て支援複合施設の整備を
進めてまいります。



糸魚川市長 **米田 徹**

～ 目 次 ～

（仮称）駅北子育て支援複合施設基本計画〔概要〕	・・・ 1
（仮称）駅北子育て支援複合施設基本計画〔本編〕	・・・ 5
1 目的及び背景	・・・ 6
（1） 整備目的	
（2） 整備の背景	
（3） 上位・既定計画概要	
（4） 計画敷地の概要	
（5） 施設機能の把握と反映	
2 整備方針	・・・ 19
（1） 整備方針	
（2） 整備目標・整備計画・事業手法	
3 施設計画の検討	・・・ 21
（1） 土地利用計画	
（2） 動線計画	
（3） 駐車場計画	
（4） 外構計画	
（5） 施設の機能及び規模	
4 建築モデル、概算事業費	・・・ 31
（1） 建築モデル	
（2） 整備費用概算、事業財源	
（3） 運営費用概算	
5 事業手法の検討	・・・ 39
（1） 事業手法の比較及び実施方針	
（2） スケジュール	

（仮称）駅北子育て支援複合施設基本計画〔概要〕

(仮称) 駅北子育て支援複合施設 基本計画【概要】



●整備目的

遊びと学びと交流のまちなか拠点施設

にぎわいある まちづくり

- ・ 駅北大火からの復興まちづくりの推進と展開
- ・ 子育て環境など都市機能の強化、充実
- ・ 多世代が集い・交流できる施設整備

少子化に対応した 子育て支援

- ・ 天候に左右されない居場所の充実
- ・ 子育て親子の交流の場の提供と交流促進
- ・ 母子保健と子育て支援の充実

都市の拠点づくりと 子育て活動支援

- ・ 中心地の機能強化と学び、交流機能の付与
- ・ 魅力と活力ある都市拠点の整備、充実
- ・ 子育て世代の社会活動の支援、促進

●整備方針

子どもが遊んで学び、子育て世代をはじめ多世代が交流できる場所

- 整備目標 子どもの成長の場、多世代交流の場として、市民の子育て環境の満足度を高め、にぎわいを生みだす人が集う場所を整備します。

- ・ 天候に左右されない子どもが遊べる居場所づくり
- ・ 妊産婦・子育ての相談、支援機能の一体化

- ・ 多世代が交流できる図書スペース、イベントスペース等のまちなかに開かれた施設整備
- ・ 子育て世代と他の世代の緩やかな交流の場の整備

子育て世代にとって
居心地のよい環境づくり

多世代交流を通じて地域全体で
子育て中の家庭を支える意識の醸成

●施設計画

- ・ 敷地面積：約 1,500 m²
- ・ 建物面積：約 2,000 m²
- ・ 構造：鉄骨造
- ・ 階数：2階建て
- ・ 駐車場：敷地内約 10 台（北側 約 27 台）
- 整備費：約 14.8 億円（工事費約 12.0 億円、設計監理費約 1.3 億円、用地費約 1.5 億円）
- 運営費：年間 約 50,000 千円

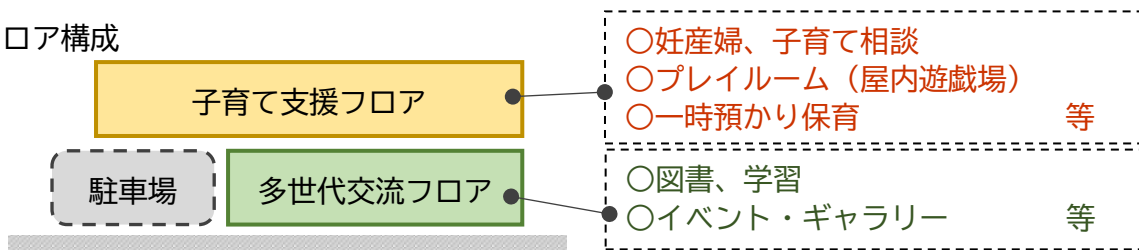
●事業手法

- ・ 公民連携手法の導入による民間事業者の管理運営を想定
 - ・ DBO一括方式または指定管理者制度の活用を想定
- ※Design(設計), Build(建設), Operate(運営)の略

●スケジュール（予定）

- ・ 令和5年度：事業者募集・選定、設計着手
- ・ 令和7年度：設計完了、工事着工
- ・ 令和8年度：竣工（令和9年4月供用開始を想定）

●フロア構成



建築モデル 平面イメージ



1 階平面イメージ



2 階平面イメージ

平面イメージは、基本計画作成時の
想定であり、運営事業者の決定後の
詳細設計業務で再検討します。

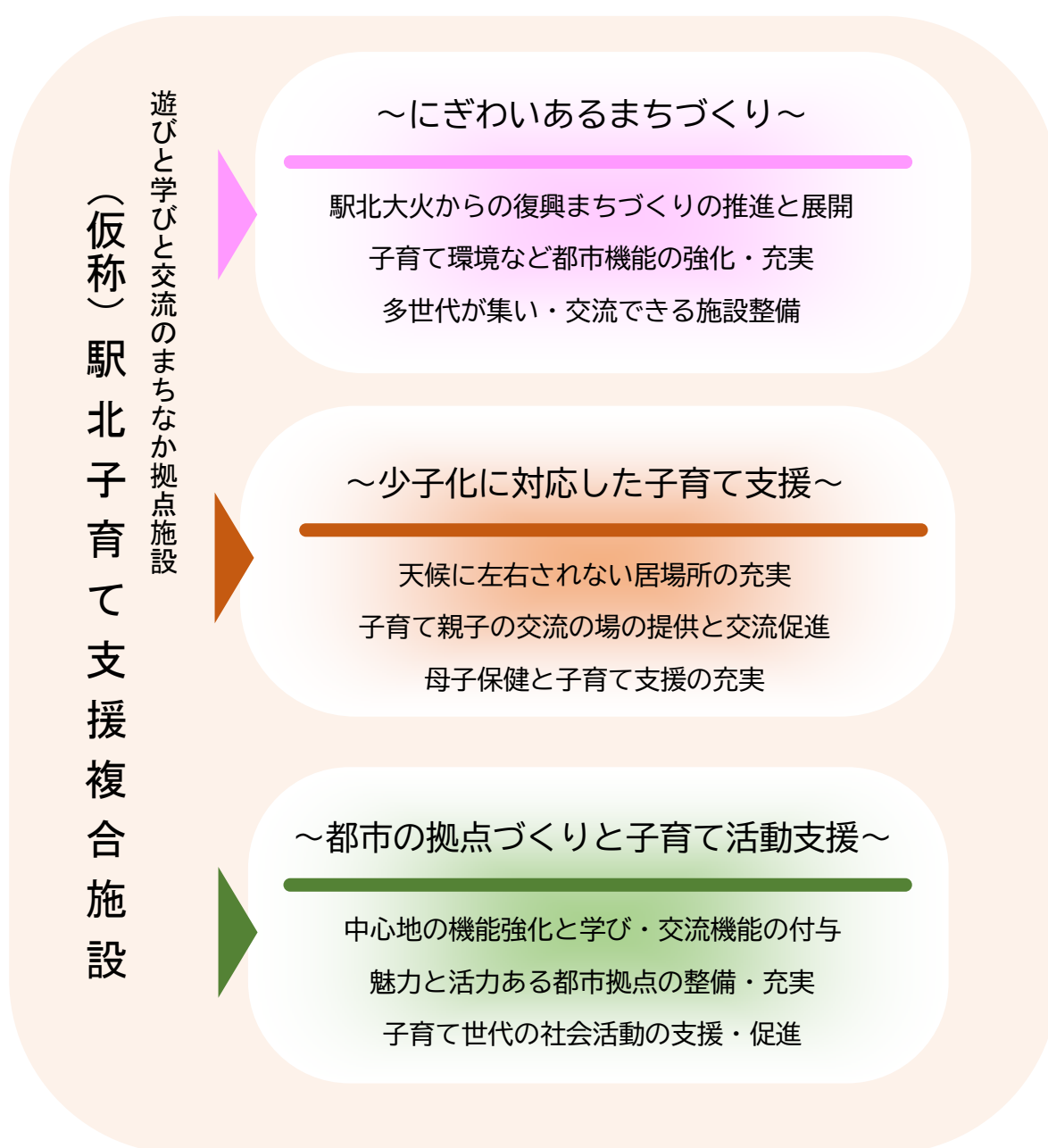
(仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画 本編

1 目的及び背景

(1) 整備目的

駅北大火からの復興に向けたにぎわいあるまちづくりを背景に、社会の担い手である生産年齢人口の減少、社会保障制度等の持続可能性リスクの高まりなどの少子高齢化社会の課題や、都市機能の低下にも対応する必要があります。

若い世代の就労、結婚、子育ての希望の実現など子育て環境の充実を図り、市の中心地における都市機能を充実させ、まちの将来を担う子ども、若者、子育て世代、さらに高齢者も含めた多世代が交流できる施設の整備を進めます。



<にぎわいあるまちづくり>

駅北大火からの復興のさらなる展開における、にぎわいあるまちづくりの推進を目的として、市民による実践的な活動や既存施設の駅北広場キターレや糸魚川ジオステーションジオパル等との連携による、まちの機能充実を図ることにより、中心地での回遊性を創出し、にぎわいを生み出す人が集い、交流できる施設の整備を進めます。

<少子化に対応した子育て支援>

全国的には、新型コロナウイルス感染症の流行が本格化するなかにおいて、婚姻数と出生数への影響が見受けられ、少子化が更に進んでいます。一方で、親が抱える育児不安や孤立した子育ての問題は、子どもの数が減少する中では深刻さを増しています。糸魚川市において、天候に左右されず年間を通して他の親子と出会い、気軽に交流できる仕組みをつくり、不安を払拭して楽しく子育てができる環境整備を進めます。

また、妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない支援となるよう、母子保健と子育て支援の充実により、子どもを産み育てやすい環境の整備を図ります。

<都市の拠点づくりと子育て活動支援>

中心地では、人の流れを呼び込む機能に学習や図書など、多世代が交流できる機能を併せ持つ魅力と活力に満ちた都市拠点の整備・充実に向けた取組を進めています。まちなかに立地する拠点施設の一つとして、とりわけ行動を制約されがちな子育て世代が求める機能や本施設をまちなかに整備することにより、その他の拠点施設と一体となり、子育て世代の社会活動を支援、促進します。



(2) 整備の背景

1) 駅北復興まちづくりに向けて

市は、平成 28 年 12 月 22 日に発災した駅北大火からの復興に向けて、糸魚川市駅北復興まちづくり計画を平成 29 年 8 月に策定しました。

その方針の一つ「にぎわいのあるまちづくり」に向け、子育ての相談など暮らしを支える公共的なサービス機能を導入する交流拠点となる、(仮称)にぎわいの拠点施設を施策の一つに掲げました。本施設の方向性は、駅北復興まちづくり市民会議、駅北まちづくり会議を経てまとめられた駅北まちづくり戦略において、複数分散型のまちづくり、子育て支援を中心とした機能と示しています。

○平成 29 年 8 月 復興まちづくり計画策定

→子育て相談など公共サービス機能を有する交流拠点として(仮称)にぎわいの拠点施設の整備を計画

○平成 30 年 6 月 駅北復興まちづくり市民会議

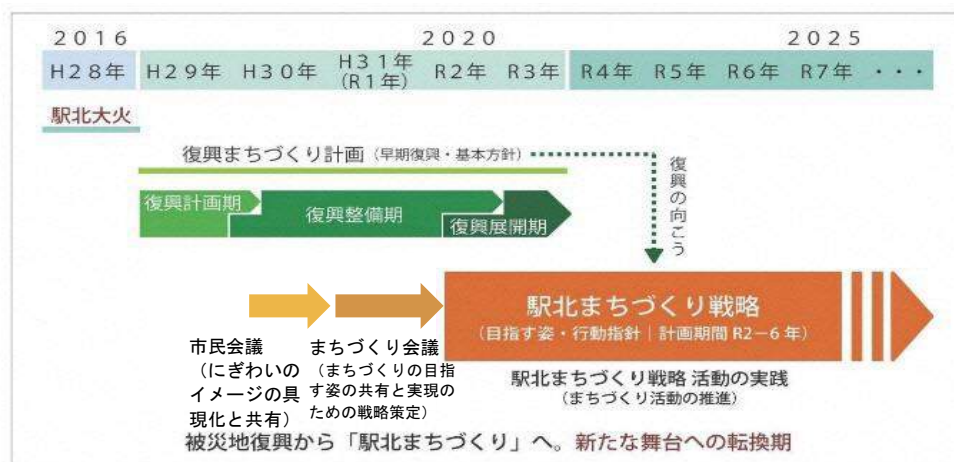
→5 点のにぎわいの定義を設定し、その情景が浮かぶ活動を提案

○令和元年 7 月 駅北まちづくり会議

→駅北まちづくり戦略を策定し、活動の実施に向けて協議、実施

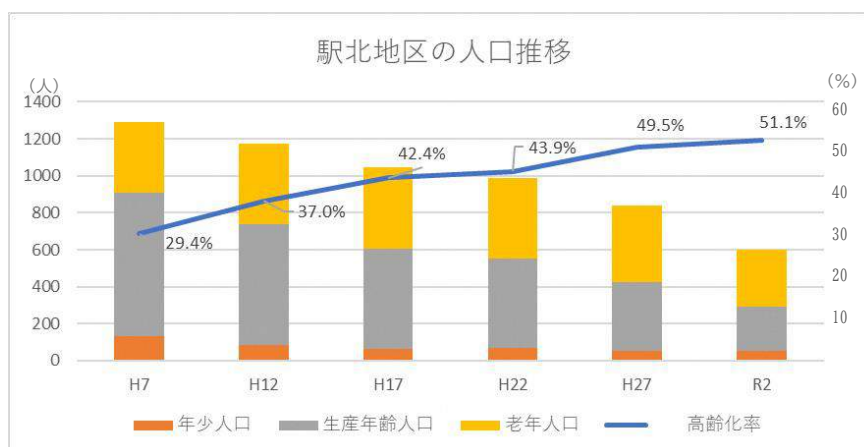
→にぎわいの拠点施設の方向性として 2 点を明記

- ・複数分散型のまちづくり
- ・子育て支援を中心とした機能



(資料:駅北まちづくり戦略 経過図)

駅北地区における平成7年（合併前）から26年間の人口推移と年齢構成は次のとおりです。少子高齢化が進む地区であり、住環境の向上を図り、居住誘導を促進する必要があります。



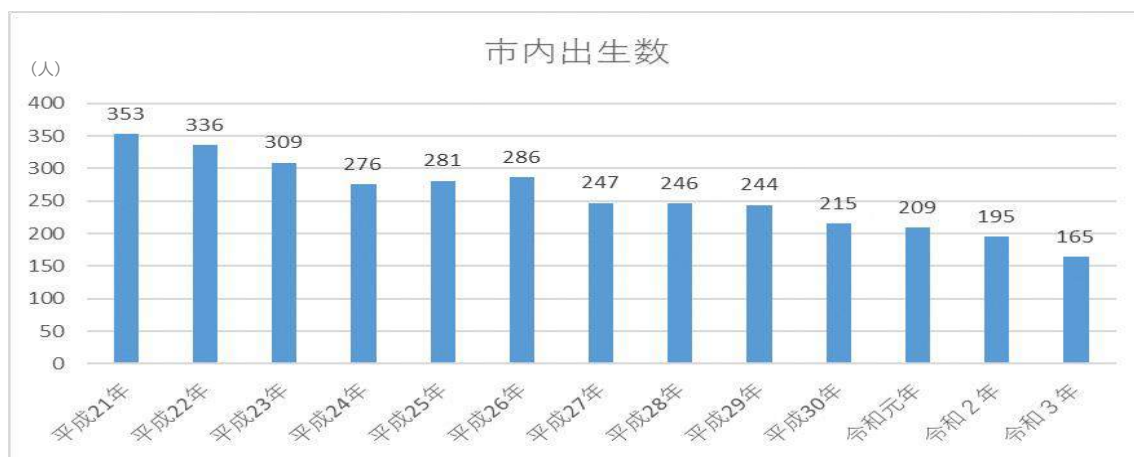
(資料：国勢調査「総務省統計局」大町、本町、新鉄1丁目区域の人口を基に作成)

2) 市の少子化と人口減少

糸魚川市の人口は、平成17年から令和2年までの15年間で約9,000人(約18%)減少しており、令和22年には27,202人まで減少すると予想されています。特に出生数の減少は著しく、これにより人口に占める年少人口も大きく減少しています。持続可能な糸魚川市を実現するためには、年齢構成のバランスがとれた人口構造への転換を図ることで、人口減少に対応したまちづくりを進め、市民が「子どもを産み育て、いつまでも元気に暮らしたい」と実感できるまちづくりが求められています。



(資料：第3次糸魚川市総合計画)

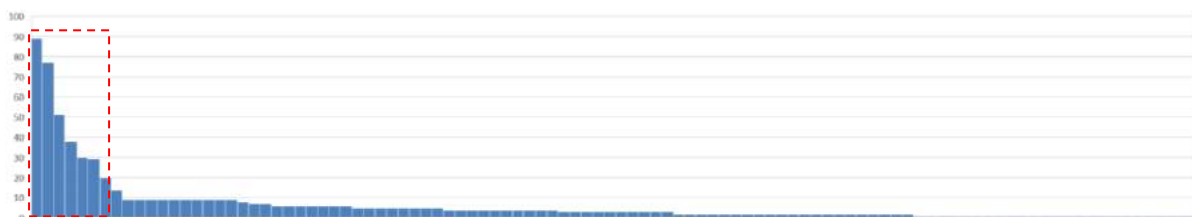


(資料：統計いといがわ)

3) 子育て世代のニーズ

子育て世代からは、雨や雪などの荒天時に子どもを遊ばせる場所の要望が以前からあり、天候に左右されずに子どもを連れて行ける親子の居場所の整備が課題となっていました。直近の子ども・子育て支援アンケートにおいては、自由意見中、最も多く要望をいただいたものが「屋内遊戯施設の設置」であり、次いで「小児科等医療機関の充実」となっています。

○令和4年度 子ども・子育て支援アンケート 自由意見欄（総意見数 481 件）



(アンケート 意見数グラフ)

上位項目を抽出

項目	実施年度	
	令和4年度	平成29年度
屋内遊戯施設の設置	18.5% (89 件)	14.5% (96 件)
小児科等医療機関の充実	16.0% (77 件)	10.4% (69 件)
公園の新設・充実	10.6% (51 件)	8.6% (57 件)
医療費助成（予防接種含む）	7.9% (38 件)	3.0% (20 件)
経済負担の軽減	6.2% (30 件)	1.7% (11 件)
子どもの遊び場	6.0% (29 件)	6.3% (42 件)
土日保育実施・改善	4.2% (20 件)	4.5% (30 件)

※小学6年生までの子どものいる全世帯の保護者対象のアンケート

割合は、自由意見に記載した者の総数に対するもの

4) 屋内遊戯施設との併設による子育て支援センターの課題解決と利便性向上

現在、糸魚川市内では、4 か所で子育て支援センターを開設しており、3 歳未満の乳幼児とその保護者を対象に居場所を提供し、育児不安の相談や支援をする場として、保育園、福祉会館、児童館等、関連施設に併設しています。

糸魚川子育て支援センターは、やまのい保育園に併設されていますが、市内4 か所の支援センターのなかで最も利用者が多くあります。

一方で、子育て支援センターには次のような課題がありました。

- ・子育て支援センターは育児相談や支援を受ける場所とのイメージ
- ・スペースが限られ、他者との距離がとれない
- ・父親や祖父母が子どもを連れて行く際の利用のしにくさ
- ・飲食、休憩スペースの要望への対応

本計画による屋内遊戯施設に子育て支援センターの機能を付加することで、上記の課題解決につながり、子育て世代の利便性が向上すると考えています。

5) 発達支援センターめだか園の拡張（副次的効果）

一方、やまのい保育園内で現在の糸魚川子育て支援センターと隣接している発達支援センターめだか園は、近年、子どもの発達相談を希望する保護者の増加傾向に伴い、その利用状況が手狭となっています。このため、糸魚川子育て支援センターの移設により生じるスペースを、発達支援センターめだか園として拡張することで、増加傾向にある発達支援に対応することを予定しています。

○5 歳児発達相談の希望者推移

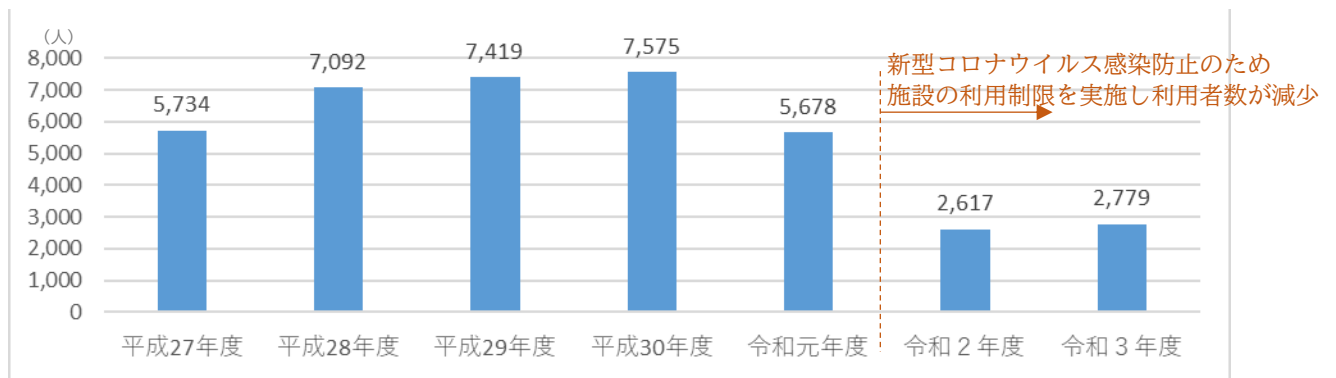
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
割 合	13.0%	15.5%	17.0%	19.3%	19.3%	19.1%	24.8%
(人数)	(39 人)	(45 人)	(45 人)	(52 人)	(58 人)	(45 人)	(52 人)

※割合は、対象園児数（年中児）に占めるもの

ア 糸魚川子育て支援センターの概要

- 所在地：糸魚川市上刈 1-14-1（やまのい保育園内）
- 設置年度：平成 24 年度（建築年度は同年度）
- 床面積：123 m²
- 職員数：常勤 2 人
- 主要事業：ちびっこ広場、赤ちゃん広場、育児相談、子育て応援講座、アドバイザー来室 等
- 利用者数：令和 3 年度 2,779 人

糸魚川子育て支援センターの利用者数の推移



イ その他の子育て支援センターの概要

○糸魚川東部子育て支援センター

- 所在地：糸魚川市上覚 33（はやかわ保育園内）
- 設置年度：平成 11 年度（建築年度は同年度）
- 床面積：108 m²
- 利用者数：令和 3 年度 802 人

○青海子育て支援センター

- 所在地：糸魚川市田海 605（青海総合福祉会館内）
- 設置年度：平成 21 年度（建築年度は平成 12 年度）
- 床面積：74 m²
- 利用者数：令和 3 年度 2,006 人

○能生子育て支援センター

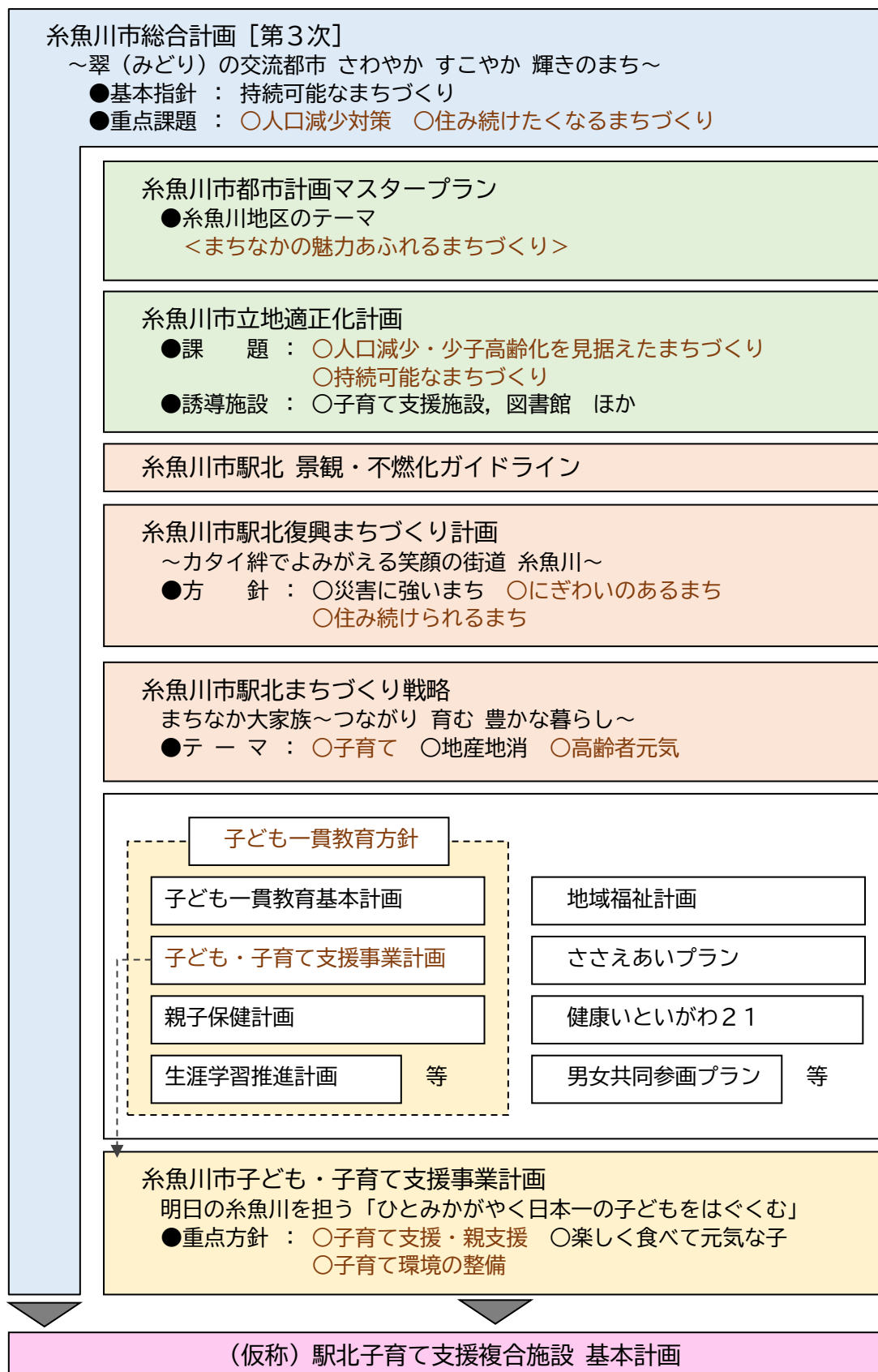
- 所在地：糸魚川市能生 1180-2（能生児童館 2 階）
- 設置年度：平成 23 年度（建築年度は平成 7 年度）
- 床面積：118 m²
- 利用者数：令和 3 年度 1,065 人

ウ 発達支援センターめだか園

- 所在地：糸魚川市上刈 1-14-1（やまのい保育園内）
- 床面積：143 m²
- 主要事業：児童の集団生活への適応訓練、保護者の療育支援等
- 利用状況：令和 3 年度 利用登録者数 54 人 総利用者数 968 人

(3) 上位・既定計画概要

(仮称) 駅北子育て支援複合施設の整備は、糸魚川市総合計画に即し、次の計画に関連しています。



(4) 計画敷地の概要

駅北地区は、公共交通等の利便性が高く、社会基盤も整備されており、居住や商業等の施設立地には適した環境と考えられます。

駅北復興まちづくり計画におけるにぎわいの拠点施設は、糸魚川駅から国道8号をつなぐ駅前通りと、駅北地区の東西を貫く本町通りが交差する周辺での整備を計画しており、キターレ、ジオパル、その他の民間施設等との連携が容易な位置にあります。

ア 所在地	糸魚川市大町2丁目地内
イ 敷地面積	1,498.44 m ²
ウ 用途地域等	商業地域、準防火地域、建ぺい率 80%、容積率 400% 防災街区整備地区計画区域〔糸魚川駅北地区〕 ※一部は特定建築物地区整備計画区域に該当

位置図



[参考] 特定建築物地区整備計画区域の主な制限等

- 建築物の開口率 : 7/10 以上
- 建築物の高さ : 5 m以上
- 建築物の構造 : 耐火建築物又は準耐火建築物
- 壁面位置の制限 : 道路境界から 2.4m以上後退（南側）

[参考] 津波避難ビル

市内に 25 か所を指定しており、駅北地区には 4 施設を指定しています。

施設名称	住 所	海拔(m)	階数	収容数(人)
ケアハウス糸魚川翠明苑	大町 1-6-8	3.6	8	1,100
ホテルあびや	大町 1-4-26	4.0	5	250
糸魚川地区公民館	横町 1-14-1	10.0	3	1,912
糸魚川駅	大町 1-7-47	5.2	3	850

【用語解説】

・用途地域

住居、商業、工業など土地利用区域を定めた地区・街区の範囲

・防火地域と準防火地域

市街地における火災の危険を防除するため定める地域

・建ぺい率 建築物の建築面積の敷地面積に対する割合

・容 積 率 建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合

・地区計画

建築物の建築形態、施設の配置等からみて、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の各街区を整備し、開発し、及び保全するための計画（市内例：防災街区整備地区計画区域〔糸魚川駅北地区〕）

・津波避難ビル

海拔 20m以下にある鉄筋コンクリート造で 3 階建て以上の建物のなかで選定し、緊急的、一時的な避難施設として市が指定しています。

(5) 施設機能の把握と反映

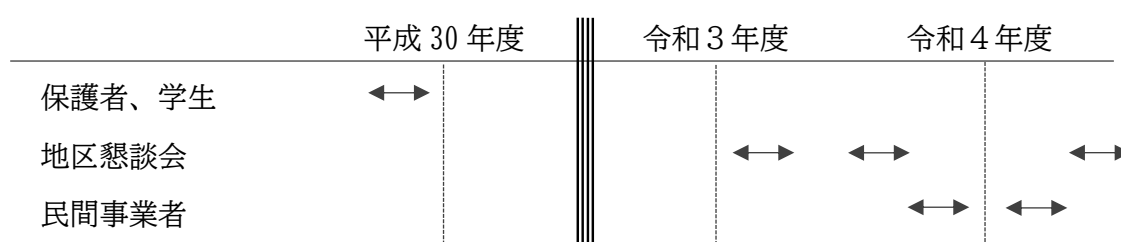
1) 施設における機能把握

駅北大火(H28、2017 年)発災後、駅北復興まちづくり計画におけるにぎわいの拠点施設は駅北復興まちづくりの様々な協議を経て、子育て支援を中心とした機能を持つ施設としました。にぎわいの拠点施設を駅北子育て支援複合施設として整備するに当たり、地元や地域、関係団体、保護者、中高生等との懇談を重ね、施設機能を定めています。

また、対話を通じて、公民連携による整備や民間運営の可能性等、公募の際の諸条件を整理することを目的として、市内外の民間事業者への聞き取り調査を実施しています。

No.	懇談会、調査等	実施時期	実施状況	備考
1	保護者アンケート	平成 30 年 1 月、2 月	市内保護者 198 人	にぎわい創出のための子育て機能調査
2	学生アンケート	平成 30 年 2 月	中・高校生 321 人	復興にぎわい機能創出調査
3	地区懇談会 (1 巡目)	令和 3 年 5 月～7 月	13 団体 72 人	経過、施設機能の検討、計画骨子等
4	地区懇談会 (2 巡目)	令和 3 年 9 月～11 月	18 団体 196 人	1 回目懇談概要、施設概要 等
5	民間事業者 聞き取り調査	令和 4 年 2 月	市外 8 社	公民連携事業による整備運営の可能性について
6	民間事業者 聞き取り調査	令和 4 年 5 月	市内 5 社	
7	地区懇談会 (3 巡目)	令和 4 年 7 月、8 月	18 団体 107 人	聞き取り調査概要、計画概要 等

(懇談会、調査等の経過)



2) 計画への反映

子育て世代、自治会、経済団体、まちづくり団体等との懇談時(R3.5～R3.11)の意見・要望等を踏まえ、主に次の点を3巡目懇談時(R4.7～R4.8)で計画に反映する旨を説明しています。

- ・屋内遊戯場、敷地内駐車場を拡充しました。
- ・妊産婦支援機能を追加しました。
- ・多目的に利用できる空間（多世代が交流できる場、市民ギャラリー、相馬御風関連ギャラリー、図書コーナー、学習できるスペース）を検討します。
- ・上記の施設機能を確保するため、旧東北電力ビルを解体して敷地を拡大します。
- ・商業的機能は基本計画に含めずに検討します。
- ・海に見える施設は4階、津波避難ビルは3階以上の階高が必要となることから、防災施設は駅北地区に一定数確保できているため、基本計画に含めず検討します。

さらに3巡目懇談時の意見を踏まえ、次の点を計画に反映しています。

- ・子育て支援機能と併せて、多様な世代が集い、交流することか可能となるよう、公共的スペースを併設・充実させ、市街地内の交流場所の一つとします。

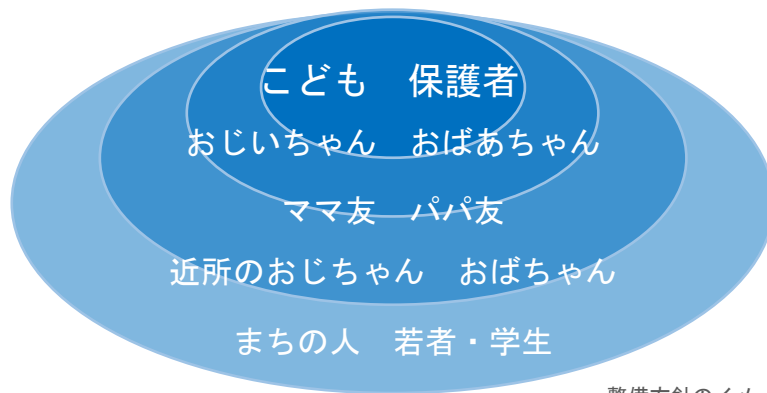


2 整備方針

(1) 整備方針

子どもが遊んで学び、子育て世代をはじめ多世代が交流できる場所

子どもが遊びを通じて学ぶ「成長の場」として、また、保護者や子育てを応援してくれる人、地元、関係団体等との「多世代交流の場」として、居心地が良く気軽に何度でも訪れたくなる場所を整備します。



整備方針のイメージ図

(2) 整備目標・整備計画・事業手法

1) 整備目標

「成長の場」「多世代交流の場」として、次の視点を重視して整備を進め、市民の子育て環境の満足度を高めつつ、市民等が集う場所を整備します。

- ・天候に左右されずに子どもが遊べる居場所をつくり、妊娠・子育ての相談・支援機能を合わせ持つ、子育て環境を向上させる核となる施設の一つとして、子育て世代にとって居心地の良い環境を作ります。
- ・多世代が交流できる図書スペースやイベントスペースなどの地域やまちに開かれた施設を整備し、子育て世代とそれ以外の世代の緩やかな交流の場を設け、地域全体で子育て中の家庭を支える意識の醸成を図ります。

【施設整備の施策目標】

施策指標	現在(R2)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
子育て環境の満足度	52.4%	60.0%	70.0%
子育てをする上で気軽に相談できる人がいる割合	93.1%	95.0%	97.0%
20～39 歳人口の割合	14.0%	13.5%	13.0%
市内図書館（3 館）利用者数	58,760 人	63,000 人	85,000 人

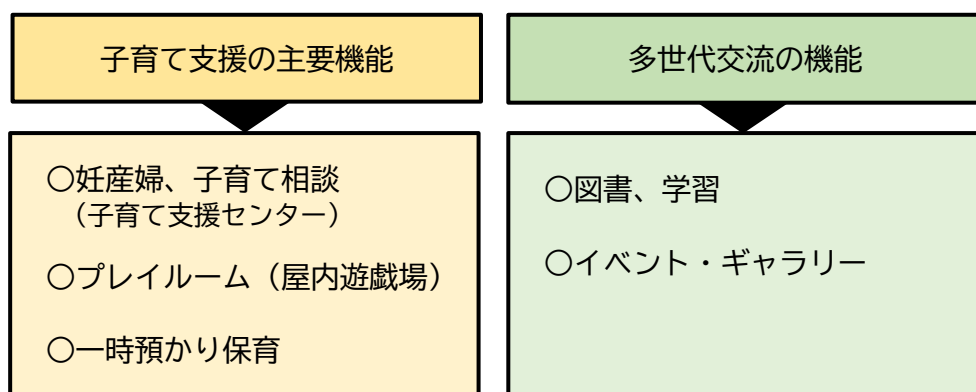
（第3次糸魚川市総合計画(R4-R10)に示された本施設に関連する指標）

2) 整備計画

本施設は、子育てを支援する主要機能と、多世代交流の機能を備えます。

子育て支援の主要機能は、妊産婦と子育て相談となる子育て支援センター、屋内で遊べるプレイルーム、一時預かり保育とします。

多世代交流の機能は、図書、学習、イベント・ギャラリー等とします。



3) 事業手法

駅北まちづくり戦略に即し、民間事業者のノウハウや創意工夫を取り入れた整備・運営を実現し、本施設の利用者にとって、使いやすく、魅力ある施設を目指す公民連携手法の導入を目指します。

3 施設計画の検討

(1) 土地利用計画

本施設の整備を計画している敷地は既に市が取得しており、南北方向に約 58m、東西方向に約 42mの幅・奥行きを有し、南側の市道横町大町線（本町通り）及び西側の市道万代屋裏小路線に面するとともに、北側の市道屋敷添道 1 号線にも接道しています。南西角に宅地（2 区画・住宅）、北側に宅地（1 区画住宅）が存在しています。

敷地内には、本施設の建物の西側道路に面して駐車場を確保し、また敷地外、北側の夕日の展望台に通ずる隔地にも、別途、駐車場を整備します。

なお、敷地内には東南角と北西角で最大 1.4mの高低差が存在しており、この高低差を考慮した整備が必要です。

○敷地面積 1,498.44 m²（市有地）

○接道状況

〔南側〕 市道横町大町線（本町通り） 幅員 10 mに 13m 接道

〔西側〕 市道万代屋裏小路線 幅員 6 mに 34m 接道

〔北側〕 市道屋敷添道 1 号線 幅員 3 mに 10m 接道

○標高・高低差

旧東北電力糸魚川営業所前面の海拔（標示） 4.8m

敷地の道路境界部分の高低差 最大約 1.4m



（高低差の現況図）

(2) 動線計画

敷地形状、接道条件（幅員などの異なる三つの道路との関係）、想定する建物・配置等を勘案した施設利用者の動線計画の方針は次のとおりです。

- 西側 自動車利用者、歩行者の動線
敷地内駐車場からの建物への歩行者動線
- 南側 歩行者の主動線
景観・不燃化ガイドライン等の推奨事項を考慮した動線
(雁木の設置)
- 北側 職員・関係者の歩行者動線・避難動線（想定）



(3) 駐車場計画

西側道路に面して、敷地内に 10 台程度の駐車場を確保します。利便性と快適性に配慮するものとし、荒天時、子育て世代等が大きな荷物等を持って、乗降、入館できるよう、上部に 2 階が存在する建物の 1 階部分がピロティ形状の駐車場を整備することを基本とします。また、敷地内の駐車場とは別に、敷地から約 50m 北側の隔地に 27 台の駐車場も別途整備します。(市有地 約 1,500 m²、民地 約 280 m²)



(4) 外構計画

駐車場以外の外構部分には、建物との関係を前提の上で、小規模な緑地を整備します。

西側に位置する大町親水市民公園と西側の市道万代屋裏小路線及び沿道環境に配慮し、西側接道部分には建物へのアクセス動線整備に併せて、景観不燃化ガイドラインによる植栽等を検討します。なお、敷地内の駐車場及び緑地スペースは、一時的な屋外活動スペースとして利活用する可能性にも配慮します。

外構計画に際しては、敷地内の高低差を考慮するとともに、敷地南側と西側の通り抜けが可能な屋外動線の確保を検討します。

南西角の宅地への配慮が必要であり、目隠しとなる塀等の設置については、隣接する住民と相談します。

外構図

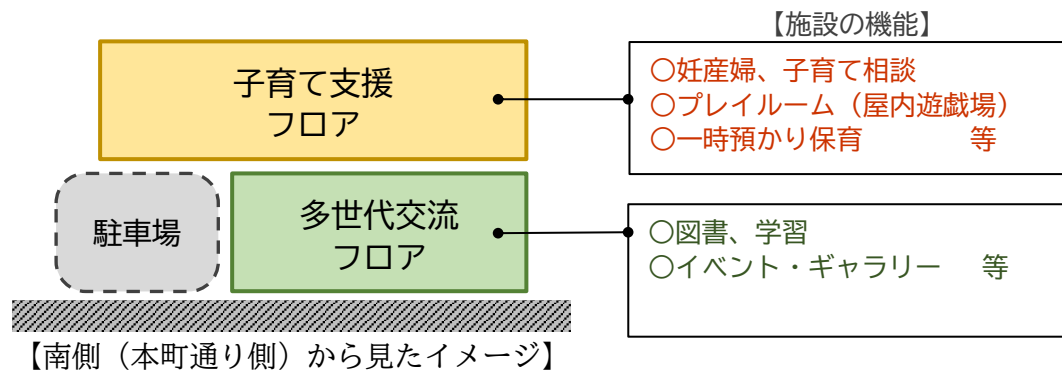


（５） 施設の機能及び規模

これまで示してきたように本施設は、子育て支援と多世代交流の機能によって構成されています。各機能に求められる床面積、敷地内駐車場、敷地形状等の諸条件を勘案し、２階建て（地下なし）の建物を想定します。

１）機能・構成のイメージ

各機能の利用者の属性や目的、安全確保等の観点から、２階部分を子育て支援のフロアとし、１階部分を多世代交流のフロアとする建物の機能構成を想定します。

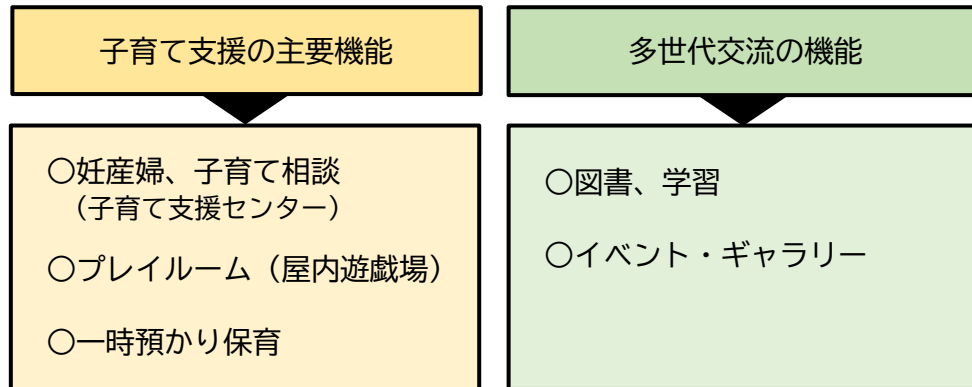


主要機能の目的と各機能の規模・関係性等から、２階の子育て支援フロア、１階の多世代交流フロアの機能・構成イメージを次のとおり想定します。



2) 機能及び規模

施設機能について、子育てを支援する主要機能として、妊産婦・子育て相談、プレイルーム（屋内遊戯場）、一時預かり保育を備え、多世代交流できる機能として、図書・学習スペース、イベント・ギャラリースペース等を備えます。



ア 子育て支援センター

90㎡ 程度

親の交流のきっかけづくり、妊産婦・子育ての相談ができる居心地の良い場所として整備し、子育ての悩み解消、妊産婦・子育て関連事業の推進により子育てを支援します。

- ・ 想定利用者数 10,000 人/年（30 人/日） ※プレイルームを含む。
※令和4年度上半期の子育て支援センターの実績及び能生児童館の利用実績により試算
- ・ 3歳未満の乳幼児と保護者が利用
- ・ 最大15組／日の利用を想定（1回の利用は最大10組）
- ・ 授乳室、相談室を設置
- ・ 妊産婦支援窓口機能（妊産婦相談など）を設置
- ・ 居心地よく滞在できるような設備を検討

イ プレイルーム（屋内遊戯場）

450㎡ 程度

天候に左右されない屋内公園のような場所を整備します。また、子どもの運動機能の発達等に配慮した遊具について検討します。

- ・ 想定利用者数 10,000 人/年（30 人/日）※子育て支援センターに含む。
- ・ 0 歳から小学生までの利用を想定
- ・ 遊具、備品、建具等により、年齢層の緩やかなゾーニングを検討
- ・ 大きめの遊具（例：すべり台、ロープ遊具等）、絵本コーナーを設置し、遊びやすく居心地の良い室内空間を検討
- ・ 最大で 50 人/回程度の利用が可能
- ・ 十分な室内換気ができる空間を検討

ウ 一時預かり保育

60㎡ 程度

親の病気、冠婚葬祭、育児対応のリフレッシュ、多様な働き方に対応し、安心して子どもを預けられる場所を整備します。

- ・ 想定利用者数 700 人/年（2 人/日）
- ・ 最大で 5 人/日を想定
※児童福祉法における児童福祉施設最低基準は 5 人利用の場合 36 ㎡
- ・ 事前予約制とし、休日保育の需要を見定める。

エ 図書、学習スペース

280㎡ 程度

まちを訪れる誰もが、居心地よく読書と学習ができる学びの場所を整備します。

- ・図書 3,000 冊程度、新聞 5 紙程度、雑誌 30 種程度を設置
※公立図書館の書架面積は 80 冊/㎡で、低書架(40 冊/㎡)で試算すると
最低限 75 ㎡程度の広さ
- ・10 人程度が学習でき、15 人程度が読書できるスペースを確保し、閲覧者を含め最大 40 人が同時に過ごせるスペースを確保
- ・利用者への図書の貸出、返却サービスを行う。
- ・会話や一定の飲食ができるスペースを検討

オ イベント・ギャラリースペース

80㎡ 程度

地域団体、親同士のサークルの活動等が広がり、様々な人がつながる場所を整備します。活動等がないときには、市民が気軽に立ち寄りお茶などが飲める場所を整備します。

- ・想定利用者数 7,000 人/年 (20 人/日)
- ・子育て世代や地域団体等がイベント等を開催できるスペースを設置
- ・企画展ができる壁面展示スペース (10 ㎡程度)、照明設備等を整備
※壁面展示は大型作品 4 点 (中型 8 点) 程度設置可能
- ・適宜、中央スペースにパネル等を設置して展示スペースを確保

カ 施設機能を補完するためのスペース

全体で100㎡程度

子育て支援と多世代交流の機能を補完するため、見守り、会議、食事のスペースを確保します。

- ・ プレイルーム（屋内遊戯場）で遊ぶ子どもを見守る場所として、10人程度が利用できる見通しの良いスペースを設置
- ・ 子育て世代や地域で活動する団体等が打ち合わせをするため、10人程度が利用できる会議室を設置
- ・ 10人程度が利用できる給湯や手洗い等がある食事スペースを設置

キ その他のスペース等

全体で940㎡程度

屋根付きの駐車場や通路、受付窓口、運営に必要な事務室等のスペースを確保します。

- ・ 通路、トイレ(子ども用トイレ含む)、倉庫等（420㎡程度）
- ・ 事務室、受付等（150㎡程度）
- ・ 屋根付き駐車場（10台、300㎡程度）
- ・ 屋根付き屋外通路（70㎡程度）

4 建築モデル、概算事業費

(1) 建築モデル

敷地面積約 1,500 m²に対し、建築面積を約 1,000 m²と想定しています。

関係法令、都市計画等の規定、制限の順守を前提に、「景観・不燃化ガイドライン」等の推奨事項に合致させることを基本として、外観デザインの計画、屋根、外壁、建具、附属設備、工作物等の形状、仕様、色彩等を決定します。

参考①：想定する施設における条件等

・用 途	児童福祉施設等
・構 造	鉄骨造、2階建て
・建 築 面 積	約 1,000 m ² (建ぺい率 約 66%)
・延 床 面 積	約 2,000 m ²
・容積対象面積	約 1,800 m ² (容積率 約 120%)

参考②：外観イメージ案 (南西上空から)



参考③：外観イメージ案 (南西地上から)



参考：建築モデルの平面イメージ



[配置図、1階平面イメージ]

<配慮事項>

建物の具体的な検討に際しては、次の事項に留意・配慮することとします。

○バリアフリー

「新潟県福祉のまちづくり条例」に適合する建築物とします。

○省エネルギー

エネルギー性能や建物利用者の健康・快適性等に優れた建物に関する取組を進めるため、先進建築物として外皮（外壁、屋根、窓等）の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えたZEB Ready（ゼブレディ）基準等の建築物の提案を推奨します。

○安心・安全

利用者の安全に加え、災害、犯罪、事故の発生に対する各種対策を講じ、安心・安全な施設の利用に配慮します。

○景観と不燃化の両立

「糸魚川駅北地区防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」を順守し、「糸魚川市景観・不燃化ガイドライン」等の推奨事項を考慮した建築物とします。

○地場産材等、地域資源の活用

温もりある居心地の良い空間整備を目指し、「糸魚川市公共建築物等における木材の利用促進に関する方針」に沿った、建築物の内装や、備品等の木質化を推奨します。

(2) 整備費用概算、事業財源

1) 整備費用概算

既存建物の解体費は、他施設の解体床単価を算出し、解体を予定している建物延床面積（約 1,158 m²）に乗じて試算しています。なお、アスベスト除去費は、その含有量によって単価が変動することから、平均となる単価を建物延床面積に乗じて試算しています。

建物の設計監理費は、国土交通省告示 98 号、解体設計費は参考見積りを基にアスベスト等の調査検査費を含めて試算しています。

建物工事費は、類似施設の建設費から延床単価（円/m²）を算出し、予定している延床面積（約 2,000 m²）に乗じて試算していますが、令和 3 年度から令和 4 年度の建築資材単価の上昇率（約 28%増）、省エネルギー建物への対応（9%～18%増）等の変動要素を踏まえ、約 25%の上乗せを見込んでいます。なお、本施設の備品購入の経費は、建物間取りが確定した後に検討することから本試算に含んでいません。

なお、建物工事費、解体費は今後の詳細設計で精査することとします。

・ 設計監理費			約 1.3 億円
<内訳>	解体設計	約 15,000 千円	【市実施】
	建物設計	約 80,000 千円	
	工事監理	約 32,000 千円	
・ 工 事 費			約 12.0 億円
<内訳>	解 体	約 56,000 千円	【市実施】
	建 物	約 1,130,000 千円	
		・ 建物工事	約 900,000 千円
		・ 変動要素	約 230,000 千円(9 億円×25%)
	駐 車 場(北側)	約 8,000 千円	【市実施】
・ 用 地 費			約 1.5 億円
<内訳>	建 物	約 87,000 千円	
	駐 車 場(北側)	約 60,000 千円	
※土地開発基金からの買戻し分含む			

2) 整備費用の財源

整備費用の財源は、都市構造再編集中支援事業（国費率 50%）を活用します。

この事業計画は、駅北大火からの駅北復興まちづくりの計画を第 1 期として、本計画を第 2 期と位置付けており、立地適正化計画を策定している市町村は、その国費率が嵩上げされています。また、国費以外の経費は、市債と一般財源を見込んでおり、整備費用と運営費用に関しては経費の縮減に努めます。

なお、市の財政計画における本整備事業の影響について、起債の償還額が多くなる令和 6 年度から令和 9 年度までを避けて、本事業の市債償還の時期を検討することで財政への影響を軽減する見込みです。

【整備費用の構成イメージ】

整備費用概算額 1,480,000 千円

国費 (事業費×50%) 【国 740,000 千円】
市債 (事業費-国費-市債対象外経費) 【国 466,200 千円】 【市 199,800 千円】
一般財源 (事業費-国費-市債) 【市 74,000 千円】

【参考】

整備費用概算額 1,480,000 千円

①国費（事業費×50%）

1,480,000 千円×50%=740,000 千円

②市債（事業費-国費-市債対象外経費）

※市債対象外経費を 10%、過疎債利用で試算

1,480,000 千円-740,000 千円-74,000 千円
=666,000 千円

交付税で元利償還金の 70%が戻ってくる過疎債を

活用し、市債の 30%が実質市の負担額

666,000 千円×30%=199,800 千円(A)

③一般財源（市債対象外経費）

1,480,000 千円-740,000 千円-666,000 千円
=74,000 千円(B)

市負担額合計 273,800 千円

(整備費負担割合 18.5%)

【用語解説】

- ・市債（地方債） 1 会計年度を超えて行う借り入れです。対象事業費に対する充当率は地方債の種別毎に違います。また、その元利償還金の一定割合に相当する金額が普通交付税で措置されます。
- ・普通交付税 国が地方公共団体に対して交付する税。基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方公共団体に対して、その差額を交付するものです。
- ・一般財源 使途が特定されずに使用できる財源です。

(3) 運営費用概算

運営費用には、建物に係る維持管理費と受付等に係る人件費を見込んでいます。

維持管理費（北側駐車場合む）は、市内施設の維持管理経費を参考に光熱水費の高騰を加味し、機器借上料、事務費等を加えて試算しています。

人件費は、館長（マネージャー）、保育士等の専門職等を含め 10 人程度の職員を見込んでいます。また、図書を扱う職員は、市図書館の運営と合わせて行うことから、本運営費用の人件費から除きます。

なお、人員配置については、本施設を運営する事業者と協議を進めながら、適正な配置となるよう努めます。

1) 運営費用概算

年間試算額	約 50,000 千円
<内訳>	
光熱水費	約 6,500 千円
消耗品費、通信料、保険等	約 8,000 千円
人件費	約 35,500 千円

2) 施設運営イメージ

施設運営に関しては、本施設を運営する事業者との協議や、市民からの意見等によって、最終的に定めていきます。

○基本事項

- ・休 館 日 年末年始
- ・開館時間 午前 9 時から午後 7 時まで

①子育て支援センター

- ・対 象 者 満 3 歳以下の乳幼児と保護者
市長が認めれば市外の者も対象
- ・開場時間 午前 9 時から午後 4 時まで
- ・利 用 料 無料
- ・運営要綱等 糸魚川市子育て支援センター運営要綱
- ・職 員 数 2 人以上

②プレイルーム（屋内遊戯場）

- ・対 象 者 乳幼児、児童
- ・開場時間 午前 9 時から午後 5 時まで
- ・利 用 料 無料
- ・職 員 数 2 人以上

③一時預かり保育

- ・対 象 者 市内居住の 4 か月以上の児童
- ・休 園 日 年末年始
- ・開場時間 午前 9 時から午後 4 時まで
- ・利 用 料 600 円から（年齢と時間により算定）
- ・運営要綱等 糸魚川市一時保育事業実施要綱
- ・職 員 数 2 人以上（1/2 以上は保育士）

④図書・学習スペース

- ・休館日 年末年始
- ・開館時間 午前 9 時から午後 7 時まで
- ・窓口休業 月曜日
- ・窓口受付時間 平日、土曜日 午前 9 時 30 分から午後 7 時まで
日曜日、祝日 午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
- ・職 員 数 1 人以上

3) 子育て支援センター運営財源

- ・事 業 名 子ども・子育て支援交付金
- ・交付金対象 子育て支援センター
- ・事業費上限 8,400 千円程度
- ・交 付 率 国 1/3、県 1/3
- ・対 象 子育て支援センターの運営費用（人件費、光熱水費ほか）

5 事業手法の検討

(1) 事業手法の比較及び実施方針

利用者が使いやすい施設整備を進めるため、運営者との協議に市民（地元、関係団体）等が参画してもらい、その意見をあわせて反映します。

設計から運営までを一括で行うD B O方式による事業実施を目指しつつ検討を進め、応募者不在の場合は、指定管理者制度等の検討を行います。

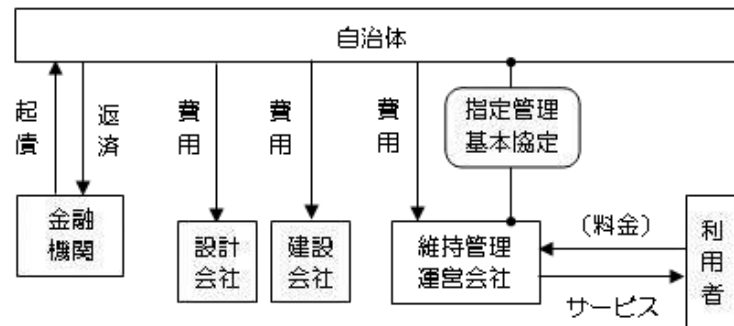
民間事業者が資金調達して、設計、建設、運営を一括発注するP F I方式は、事業規模が小さすぎて実施が困難との意見があったことなどから、検討の結果、選択肢から除きます。

<事業手法の例>

①指定管理者制度

(市内事例)

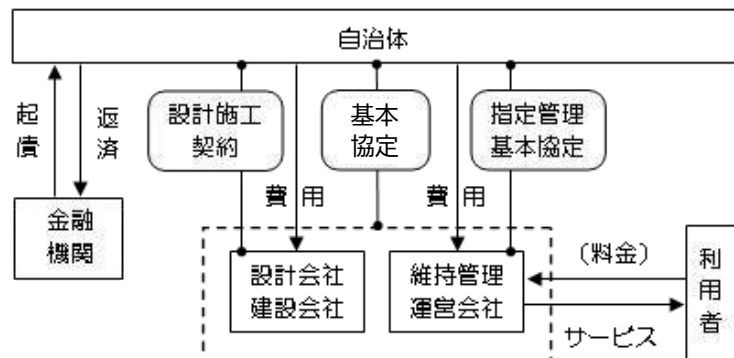
- ・ 駅北広場キターレ
- ・ 斎場
- ・ 健康づくりセンター
- はびねす ほか



②D B O方式

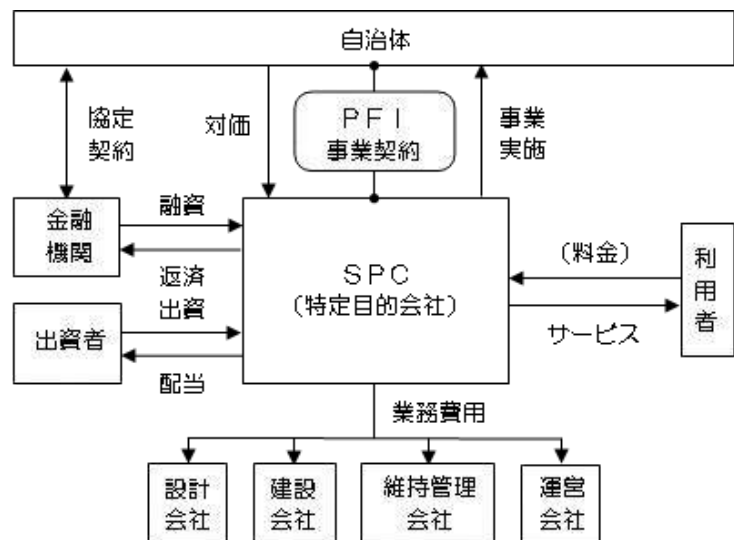
(市内事例)

- ・ 清掃センター



③P F I方式

市内事例なし



<事業手法の比較>

項 目		指定管理者制度	ＤＢＯ方式	ＰＦＩ方式
業 務 範 囲	設計	公 共	民 間	民 間
	建設			
	運営	民 間		
	資金	公 共	公 共	
概 要		市が設計、建設を行い、運営を民間事業者に委ねる。	民間事業者に設計、建設、運営を長期契約により一括発注する。	民間事業者に資金調達をさせ、設計、建設、運営を一括発注する。
施設所有		公 共	公 共	民間（公共）
メリット		民間運営ノウハウの活用による業務効率化への期待	設計・施工に要する工期やコスト等の創意工夫や、運営を含む民間ノウハウの活用による事業全体の効率化への期待	
デメリット		建設コストが高くなる傾向	事業者選定に時間を要する	
		公共による資金調達が必要		

※ＤＢＯ Design(設計)、Build (建設)、Operate (運営) の略

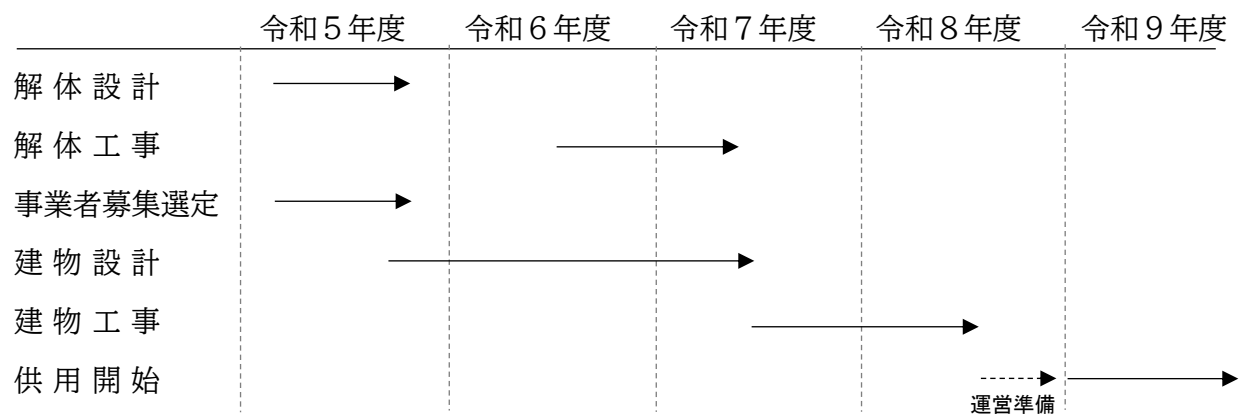
※ＰＦＩ Private Finance Initiative の略

(2) スケジュール (予定)

令和5 (2023) 年	事業者の募集、選定、建物設計、解体設計
令和6 (2024) 年	解体工事
令和7 (2025) 年	建築工事
令和9 (2027) 年	供用開始 (運営期間は事業者を募集する際に設定)

※ 本施設整備の進捗状況等は、広報紙等を通じて市民にお知らせします。

(スケジュール表)



参考資料

- 1 パブリックコメント実施概要
- 2 民間事業者への聞き取り調査概要
- 3 関係団体との懇談会概要
 - (1) 1巡目
 - (2) 2巡目
 - (3) 3巡目

(仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画パブリックコメント実施概要

- ・案件名 (仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画 (案)
- ・公開期間 令和5年1月25日 (水) から令和5年2月23日 (木) まで

2 意見内容

(1) 提出件数 24 件 (意見数:73 件)

(2) 主な意見の種類 ※ () 内は意見数

・施設機能の拡充と設備の追加	(15件)
・施設整備への懸念と反対	(8 件)
・施設の運営と体制への要望	(7 件)
・利用者等の意見聴取と進捗状況の周知	(6 件)
・整備費及び運営費の縮減	(5 件)
・整備費及び運営費の質疑	(5 件)
・事業者の選定方法等	(4 件)
・市内既存施設の活用等	(4 件)
・記載内容の質疑、修正	(4 件)
・その他 (子育て支援に特化した施設整備、多世代交流への懸念 など)	

※詳細は、資料 1-1「寄せられたご意見とそれに対する市の考え方」のとおり

3 計画への反映状況

反映項目	件数
A 提出された意見を計画に反映、または一部を反映することとしたもの	10
B 提出された意見が既に計画に記述済みのもの又は織り込み済のもの等 変更をしないこととしたもの	22
C 今回の計画には修正又は記述しないが、今後実施又は検討課題とするもの	33
D 今回の計画には反映しないこととするもの	8

《寄せられたご意見とそれに対する市の考え方》

意見を求めた案件名	(仮称) 駅北子育て支援複合施設基本計画
公開期間	令和5年1月25日(水)から令和5年2月23日(木)まで
担当部署	産業部 都市政策課

◎計画への反映状況

- A 提出された意見を計画に反映、または一部を反映することとしたもの

B 提出された意見が既に計画に記述済みのもの又は織り込み済みのもの等、変更をしないこととしたもの

C 今回の計画には修正又は記述しないが、今後実施又は検討課題とするもの

D 今回の計画には反映しないこととするもの

提出方法(手紙、ホームページ)、提出された順番に掲載

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
1	旧北越銀行の再利用と比較検討ください。	旧北越銀行は市の所有でないことから、利用比較を行うことはできないと考えています。	D
2	多世代交流フロアで、読書と学習のスペースをもっと広くできないか再考願います。	読書と学習スペースは、緩やかな交流の場として誰もが居心地よく学べる場所としています。多世代交流フロア内の他機能の状況などを踏まえて設計時に検討いたします。	C
3	休館日は、年末年始の最低限にして、市民の利便性を最優先で運営ください。	施設運営イメージに記載のとおり、施設休館日は年末年始としています。	B
4	子育て支援施設建設には反対です。約15億円もかけて(これからの維持費も高い)作る必要はあるのか？孫も利用できそうな年齢ではあるが、そう考えてもいないのではないかな。年々、市内の出生率も下がり、利用者数がこれから増えることはないと思うし、こんな大きな施設があるからといって出産する人が増えるわけでもない。現在、公立保育園で働く保育士が足りず、無資格者もかなり多いと聞いている。それでも保育園の先生方は日々苦勞され、やっと子ども達をみていただいているのではと感じる。なのに、この施設にはまたさらに保育士等の有資格者を必要とするようですが、人員の確保はどうするのか。そこに人員をあてる位なら、今、現在多くの子ども達が必要とし通っている保育園等の職員を増やす方が、これからの子ども達には大切ではと思う。見栄を張り、大きな外面ばかりいいものにお金をかけるのではなく、今現在の保育園環境を整えたりしてほしい。そして、今、賛成されている市議会議員のみなさま、党派など関係なく、しっかり考えてほしいです。普通に分かりきった話ですよ。市民で心待ちにしている人は、はたして何割いるのでしょうか。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 整備とあわせて、保育環境の充実など、様々な子育て支援策を検討してまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
5	タイムリミットを守る。市民の意見は反映されるのか。期限はいつなのか。行程はどうなのかも逐次市民に公開する。	基本計画（案）のスケジュールで進めつつ、市広報紙等を通じて進捗状況等をお知らせいたします。	B
6	駅北子育て支援複合施設（仮称）とあるが、子どもを育てる母親又は両親しか該当しない施設となってしまうので、名称に「子育て支援」は入れないでほしい。高齢者から大人や若者、子ども、赤ちゃんまで、市民等みんなが利用できる明るいにぎわいのある複合施設にしてほしいと思います。図書館をベースにした多世代交流、子育て相談施設にしてほしい。全世代1億総活躍の場とし、選ばれる糸魚川市の1施設としたい。	子育て世代を含む高齢者から若者までの多世代が緩やかに交流できる施設を目指して計画してまいります。	C
7	今の図書館を移転し、多目的なことができる自由でゆい図書館（AIコンシェルジュ、まちの何でもコンシェルジュ兼司書）をおいて、できることは図書館司書にレファレンスサービスやまちの情報提供として、街のプロフェッショナル（仕事の相談や、仕事の依頼、起業家やチャレンジの場所を提供等）を紹介し、できないことを市民の人々にお願いする。橋渡しを行う。周りの人に助けてもらう。 学生に対応する常設チューター（受験や受験大学等、勉強の相談をする）を置いてほしい。（ボランティアでも可）、企業相談員（商工会や若手起業家や社長を呼んで講演や相談を行ってもらう）ヒスイ王国館とのすみわけも大事。 勉強施設やブース、飲食スペース（はしで食べれないもの限定）、会議や講義で使う教室など「キターレ」「糸魚川地区公民館」とも連携する。1階に軽食やミニコンビニ（コーヒー、お菓子、総菜、おにぎり、弁当、雑貨等）のスペースを設け、買い物難民のおとしよりも利用いただき、お年寄りのお茶のみスペースと利用していただく。 図書利用者は今のカードを止め、スマホでも利用でき利用履歴も自由に見れる（ICカード、マイナンバーカード等）	図書スペースについては、図書館サービスの一部を実施する計画としており、ご提案の内容を含めて検討してまいります。	C
8	5,000万円の運営費用が年間かかるとされているので、やるならもうける施設にしたい。企業相談サービスや、テナント賃料、出展料などでかせぐ。	施設使用料等は、適正に負担してしていただけるよう検討してまいります。	C
9	北側駐車場は、27台予定地が分かりにくいので、糸魚川信用組合の向いのまちなか駐車場とも連携すべきだと思う。	北側駐車場を施設駐車場として、利用者への周知に努め、他の駐車場との連携を図ってまいります。	B

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
10	糸魚川市の玄関口ともいえる駅前一等地に利用者が見込めない施設を作るべきでないと思う。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。	D
11	そもそも、復興助成金は街のにぎわいのために使うべきで、無理やりこぎつけ的に15億も使って、年間5千万円も、コストがかかる施設は現実的でない。そのお金は、もっと外の福祉事業に廻せば良いのではないか	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 整備費用及び運営費の縮減に努めてまいります。	C
12	図書館も併設するようだが、それで多くの世代が交流すると言っていたが、何を根拠で言っているのか？意味が分からない！現在の市内に3カ所ある図書館の現状を見ればわかるはずだ。駅前の信号機が沢山ある別の意味で車で来るときストレスがかかる場所など来ないと思う。	図書スペースは、子どもからお年寄りまで多くの世代が緩やかに交流できる場所となると考えています。また、一定台数の駐車場を確保しつつ、北側に施設駐車場を確保します。	C
13	雨が降っても遊べる広場など、過保護的な発想だと思う。市長は力強い子どもに育ててほしいと書いてあったが？わざわざ雨が降ったから車で来て遊ばず親子は何人いるのか？	子育て世代のニーズのなかで、屋内遊戯施設への期待は高いと考えています。	B
14	地元の要請があったのではないかと？ミヤタビル、東北電力の跡地購入も疑問である。もっと積極的に市で意見交換会を開いてほしい。なぜしないのか。	これまでも施設における機能把握に努めており、今後も設計の段階等でご意見をお聞きしたいと考えています。	C
15	官製談合事件、屋内プールの設計業務の入札。今回の施設にも何億というお金が動きます。市民のためにも、少しでも費用がかからないことを願います。	整備費用、運営費用の縮減に努め、整備と並行して、様々な子育て支援策を検討してまいります。	C
16	現在ある施設でまかなえないのでしょうか。空いている教室とか。 キターレは、通常利用者は少ないようですが、使えるのでは。 子育て支援をするならば、給食費無料とか、学校の体操着、靴、学生服等が高額なのを支援してほしいです。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
17	この件を知らない市民が多くいます。皆に分かりやすく情報提供してください。 税金の使い方をもう一度考えてみてください。	基本計画（案）のスケジュールで進めつつ、市広報紙等を通じて進捗状況等をお知らせいたします。	B
18	現在進行中の「子育て支援センター」について、本来目指していた中心市街地活性化の中心的建造物とは違和感あり反対。街の中心でのあの立地は貴重。私の考え…センターを現在の御風館に建設、大町には観光の目玉になるような、御風記念館、県石ヒスイ、糸魚川の海山産物の展示館、展望台がある建物を作り、本町通りに再び人を取り戻すべきだと思う。	人が集い交流する施設を計画し、中心市街地の活性化の一助となるよう努めてまいります。	D
19	26ページ ア 子育て支援センターについて 事務室、受付はホール正面におき相談室は後方に配置してほしい。 28ページ エ 図書、学習スペース(小)の方は会議室兼用としてほしい。 28ページ オ イベント・ギャラリースペースと図書、学習スペースとの相互性は、出入口の再検討が必要。 29ページ カ 一時預かり用の給食準備室、ランチルームを設置してほしい。 29ページ キ 屋根付き室外通路を駐車場までつなげてほしい。	平面図はあくまでイメージとしており、居室の位置等は設計時に再検討します。	C
20	27ページ イ 見守りスペースをプレイルームに移動して、そこに多目的トイレ、汚物処理を設置と倉庫を増設してほしい。 27ページ ウ 一時預かり保育スペースに1から2歳児の幼児用トイレを設置してほしい。	衛生に配慮した場所となるよう考えています。	B
21	35ページ 1) 開園時までの全ての備品費用は工事費にふくまれますか。	整備費用概算における工事費には、備品購入経費を含めていません。	B
22	展望台とは？その維持管理はどうなるか。	北側駐車場を展望台側と記載したものであり、北側駐車場で統一します。また、その維持管理も運営に含みます。	A
23	37ページ 1) 運営概算費はすべての施設費用ですか、図書部門とイベントギャラリー面と子育て支援施設では開館、閉館時間帯が異なるので運営は別に出来ないか。	運営費用の概算はお見込のとおりです。 DBO方式による事業方式とした場合、複数者がグループを組み、申し込むことを想定しています。設計、建設と同じく、運営者も複数者で組んで申し込んだことは可能です。なお、図書に関するサービスは市直営を予定しています。	B

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
24	運営費に対する人件費率は試算だと70%です、人件費の試算はどのようにしましたか、今私どもが行っている民営保育事業では80%から85%と高い水準となっております、目標は80%を超えないことです。	人件費は、10人程度の職員と考え、市の労務単価を乗じて試算しています。	B
25	公立、民間の保育士賃金格差を考えるべきではないか	保育士賃金の定めは、本計画において検討できるものでありません。	D
26	37ページ 2) ①10㎡ほど床暖房を希望。	26ページの子育て支援センターの説明に「居心地よく滞在できるような設備を検討」を追記します。	A
27	38ページ ② プレイルームの天上中央部に、内気、外気を排出取入できる様にしてほしい。	29ページのプレイルームの説明に「十分な室内換気ができる空間を検討」を追記します。	A
28	一時預かり保育 対象は生後4か月児童となっているが、産後ケアの利用は0か月から2か月で本園では行っていますので、対象を0か月にならないのか、又児童小学生何年までか、また補助制度あるか	一時預かり保育の記載欄において、対象者を4か月以上の児童としています。なお、産後ケア等の新たな運営者の提案によって、安全性等が確保されれば年齢要件を下げることは可能と考えています。	C
29	38ページ 3) 子育て支援センター 支援センター財源は総合運営費50,000千円に参入されていますか、各種補助財源の検討をお願いしたい。 事業費8,400千円は単独交付金のことか。	運営費50,000千円は、施設運営イメージから想定される概算経費を試算した額と考えています。なお、財源として計上している8,400千円は、50,000千円のうちに含まれる額であり、直接事業者を支払われる補助金等ではありません。	D
30	39ページ 3(3)② DBO方式を望みます、運営者の個人負担はありますか、無いと信じています 各事業において制度による補助金以外に市単独助成金の検討がありますか。	基本計画（案）に記載のとおりと考えています。 また、運営費は、運営費概算と考えており、市単独助成金はありません。	B
31	41ページ スケジュール表(予定) 募集選定8月 解体設計9月 解体設計工事11月 解体完了6年1月 地盤調査、地盤改良 6年1月～4月 建物設計 5年9月～5年12月 建設工事 6年1月～7年2月 運営者 7年2月～3月中旬 施設確認 7年4月1日開園7年2月 希望者募集 職員体制整備 8年4月1日開園	基本計画（案）のスケジュールを見込んでおり、今後、設計者・運営者等が選定がされた後に、詳細なスケジュールを協議します。	B

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
32	最後に設計協議、施工協議等はそれぞれ別途計算で。	運営候補者等の選定後の協議の際に発生する経費等は、運営候補者等でご負担いただくことを基本に考えております。	C
33	外構工事はいかがですか	外構工事は工事費に含まれています。	B
34	DBO方式の選択は開園時に利用者に不満を感じさせない、また開設者の不備が無い状態にすること(開設者としてはかなりの負担、検討努力が必要) 図書部門、学習スペース並びにイベントギャラリーの別管理にすることを前提とした上で、就学前の健全な保育・教育を保護者、地域、保育士(園)と十二分な体制整備を行います。	DBO方式による事業方式とした場合、複数者がグループを組み、申し込むことを想定しています。設計、建設と同じく、運営者も複数者で組んで申し込むことは可能です。なお、図書に関するサービスは、現段階において市直営を予定しています。	B
35	想定利用者数のから見て過大な施設整備とならないか。 糸魚川子育て支援センターの利用者数は令和元年に約6000人、令和2、3年度に約3,000人となっており、コロナ禍の影響で利用制限したことから大幅な利用減となっており、コロナ禍の中で利用できなかった者はどのようにしていたのか調べてみましたか。 市は保育園・幼稚園運営に力を入れ、能生地域・糸魚川地域・青海地域とも3歳未満児を受入れ、0歳児26人、1歳児123人、2歳児164人と年齢が上がるにつれ保育園等施設利用となっているのが現状と捉えております。(4年度4月) アンケートや要望で天候に左右されない屋内施設整備が要望されているとの理由や手狭になっている糸魚川子育て支援センターに、図書・学習スペースやイベントスペース等組み合わせの複合施設を整備するとしていますが、多く幼児は、平日は保育施設を利用しており、土曜、日曜日に集中し子育て支援複合施設を利用することが想定されます。 糸魚川子育て支援センターは年間1万人の利用を見込んでいますが、出生数も年間160人を割ろうとしている中でこの施設が過大利用見込みとならないのか。その他の「一時預かり保育」は新たな施設整備をしなくても既存保育園等を活用出来るのでないか。「図書・学習スペース」では図書館は市内に3か所あり、学習スペースは想定利用数を挙げてない状況で施設整備が必要か危惧しております。整備するのであれば子育て支援センター機能と小規模なプレイルームとし最小限の費用での整備を検討願います。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 また、糸魚川の中心地として、多様な働き方を求める人材も増えてきており、一時預かり保育等のニーズが高まってくるものと考えています。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
36	整備費用・運営管理費から見た対効果について 総整備費が15億円と試算されておりますが、キターレ整備費が約5億円、市営住宅が約6億円と聞いています。建設資材高騰で約3割も上がっている時期に整備しなければならないのか。（建設単価が非常に高額でないか） また、市の負担が3億円で後は借金で実質負担は影響ないと説明されましたが、国費が50%の補助が確保できるか。市債は一部地方交付税で補填されるし、一般財源に影響が少ないとされているが「必要とされる事業」に影響がないとは疑問です。 また、毎年の維持管理費が5千万円かかると試算されており、既存施設を利活用し少ない経費で効果を発揮できないか検討願います。人口減少する中で新たな「箱物行政」から脱却し、新たな借金を増やさないことを切望します。	建設単価は市内外の施工実例を参考に設定しています。また、市債償還時期の検討により財政への影響を軽減したいと考えています。 既存施設の利活用は、敷地内の旧東北電力建物の活用検討を進めましたが、利用手法に制限がかかること、耐震性やその後の修繕等に一定の経費がかかることから取り壊し、新設することで計画しています。 引き続き、整備費用、運営費用の軽減に努めてまいります。	C
37	利用対象や関係者の意向調査や施設運営管理委員会の設置について パブリックコメントだけでなく、複合施設を整備する前には是非利用対象者等の意向調査をお願いし、最大限利用され効果のあるもので整備されたいものです。新幹線駅設置の駅利用見込数、えちごトキメキ鉄道利用見込数、災害復興拠点「キターレ」の見込み数は業務を開始してみると想定数値と程遠いものとなっております。新幹線や在来線と異なり複合施設は身近な施設です。施設の管理を指定管理等で進めるようですが議会とは別に少なくとも単年度ごとの事業評価や管理運営状況を管理する委員会などを設置し、効果のある施設として運営することを願います。 昨日、議会全員協議会を傍聴しこの事業は災害を踏まえての補助事業と知り有利な補助事業を活用し整備することは理解しました。様々の要因や手法があると思いますので一旦休んで事業を見直されることも必要ではないかと感じました。	これまでもアンケート、懇談等を重ね、いただいたご意見を踏まえ、基本計画（案）に反映しているものであります。 設計時には利用者等の意向調査を実施し、今後、適正に管理運営状況进行评估できる体制を検討してまいります。 また、計画におけるスケジュールにそって、慎重かつ確実に整備を進めてまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
38	子育て支援センターについて 現在、市内4か所の子育て支援センターの中心が糸魚川子育て支援センターになっています。委託後は、外の3か所の支援センターとの連携はどのようなものでしょうか 説明会でも申し上げましたが、現在は、市内保育園の職員が人事異動しながら支援センターの担当になっています。 糸魚川市の保育や幼児教育の現状を知っている保育士が支援センターの担当になることは、子どもの現状の課題を認識したうえで未満児にかかわることが出来ます。 子供の発達で3歳までの育ち方（関わり方）が、心も体も一生の土台になることを考えると、未満児にかかわる子育て支援センターの役割は重要と思います。 （関わる人材の質も問われますが） めだか園の利用者が多くなっている現状の打開策の一つとして、乳児期から未満児の親の支援（教育も含む）が重要になってくると考えます。市のご担当者は、保育園、幼稚園に行ってからでいいようなことを言っているようですが、そこまでに基本的な行動が出来上がってしまいます。（三つ子の魂百まで）決して育児の仕方が悪いと言っているのではなく、ママたちを見ていると分からなくて迷い、悩み、困っている方が少なからずいます。計画では「母子保健と子育て支援の充実」とありますが、ママたちの集まりの場としてだけでなく、親の悩みや子供の問題に向き合って一緒に支援できるように、市と連携した体制を整えてもらいたいと思います。子供の問題行動修正は、後になればなるほど時間と経費が掛かります。 ・そのようなことから考えた時に一番感じることは、子どもの「土台作り」に対して、市の姿勢や強い思いが薄いように感じることです。 「日本一の子ども」の旗印のもと、具体的に計画策定する担当職員が、保護者だけでなく現場職員や保育現場の職員、保健師などの意見を聞いて、現状をしっかりと把握されているか、疑問に感じます。（園長クラスの保育士でさえ、支援センター機能も事業委託になる計画を知らないようです）	市内の支援センターと関係機関との連携については、引き続き、市が主導的に対応します。	C
39	糸魚川市の思いがしっかりできていないと施設を民間に委託されても、遊び場の提供だけになってしまうのではと懸念しています。（委託業者の指導もできないのでは？） もちろん、通年を通して遊べる場の提供は賛成ですが、そのことと子育て支援センターが一緒になることが果たして良いのか？と思いますが、すでに計画は進んでいます。その整理をしっかりしたうえで事業委託の公募が行われることを切に望みます。（計画の文字面だけではなく） 巨額の経費を投入して良い施設を作るのですから、魂の入った施設になるようお願いいたします。	基本計画（案）における整備目的や方針、目標を整理共有し、今後、民間事業者からより良い提案をいただけるよう検討してまいります。	B

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
40	(プレイルーム、屋内遊技場について) 小学生までの子どもの利用が考えられていますが、近年子供の足が育っていないことが問題になっています。 土踏まずの形成が遅い、足の指がしっかり床についていない(浮指、寝指、外反母趾、内反小指など)指がしっかり床についていない影響もあり、転びやすい子供が増えています。 内閣府の調査で、園や学校などでの子供の怪我で、一番の原因は「自ら転倒」だそうです。 したがって、子供の問題を考えたら、室内でも子供の足を育てる工夫があったらいいと思います。 楽しい遊び場の提供だけが目的でしたら不要かもしれませんが、必要でしたら提案させていただきます。 (具体的には「アダブベース」の導入) アダブベースは、子供の足を育てる目的だけではなく、高齢者の転倒予防にも役立ちます。	プレイルームには、子どもの運動機能の発達等に配慮した遊具を考えています。	B
41	この施設を運営する事業者の選定にもっと時間と人的リソースを使ってほしい 「建物を建てること」が目的になっているような気がしてとても不安です。 実際に建物を利用(運営)していく企業(または団体)をあらかじめ選定し、その企業がどんなコンセプトをもって運営していくのかが全く決まっていないまま建物だけ用意しても利用者が増えるとは思えません。 まずは、新施設の運営をお願いする企業(すでに子供や子育て世代が集まる施設を運営している(または運営した実績をもつ)企業を決めることが大事だと思います。なんなら、設計等は運営企業がやりやすいように丸投げでよいと思います。なので、運営をお願いする企業の選定に全リソースを投入してもらいたいです。良い企業にお願いできれば、必ず施設利用者が増えると思います。	運営候補者が設計の段階から協議に加わり、よりよい施設となるよう目指しており、民間事業者募集の際には、十分な募集期間をとるよう努めてまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
42	複合施設ではなく、子供と子育て世代を重視した施設にしてほしい 設計案を見ると建物の一階部分に図書・学習スペースが広大に設けられています。 また、イベント&ギャラリースペースまで設けられています。この部分は本当に必要なのでしょうか？すでに駅北には、とても素晴らしい多目的施設キターレが用意されていますよね。 キターレには、学習スペースや簡単な図書スペースがすでにもうけられています。 また、何度もイベントやギャラリーが開催されています。 キターレの施設だけでは、学習スペースが本当に足りていないのか？ イベントやギャラリーの希望が多く開催できなかった人がいるのか？ この辺りを市職員の方は把握して、このスペースを設けているのでしょうか？ 私が見る限り、キターレはまだまだ余力が残っているように見えます。（新施設にキターレ同様のスペースは不要だと思います。）（私自身、キターレをよく利用しますし、とても良い施設なのでもっと利用促進に力を入れてほしいです。） また、会議スペースも設けられていますが、どのような人をターゲットにしているのでしょうか？ 子育て世代が子供を一時預かりしてもらっている間に会議をすることを想定していますか？それとも、一般の利用者がわざわざこの施設で会議予約をすること想定していますか？すでに駅北エリアには、糸魚川地区公民館等の立派な会議できる場所が用意されていますよね。地区公民館の会議室がいっぱいですすでに予約ができないような状況が起こっているのでしょうか？	子育て支援の機能を拡充しつつ、広い世代の方々から利用いただけるよう、近隣施設と連携してまいります。 また、子育て世代だけではなく、多くの年代や地域全体で子育てを応援する機運醸成も必要と考えており、その一助となるよう多くの皆さんから気軽に何度でも利用していただける緩やかな交流の場として計画しています。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
43	日頃から、子育て支援に関して市の施策に感謝申し上げます。 さて、この度駅北に子育て支援複合施設を計画しているとのことで一言申し上げます。 なぜ、あの駅北に子育て支援複合施設が必要なのですか？駅北大火で補助金があるから、だからどうしても建設しなければならないのですか？ だとしたら、税金の無駄使いです。 また、建設に向けて誰の意見を反映されましたか？地域の方の意見だけを尊重されたのであれば本末顛倒です。 目的に沿った対象者に十分な意見をお聞きし建設するのであれば納得できます。でも、それはされてないはずです。 まず、住民はこのことを知らない人が多数いますし、行政も建設に対しての本気度が伝わってきません。でも税金を使われます。これ、住民に対して騙して建設するように思います。このような施設を後世に残すことは絶対反対です。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 これまでもアンケート、懇談等を重ね、いただいたご意見を踏まえ、基本計画（案）に反映しているものであります。	B
44	後世につけを残すことはしてはならないです。子育て支援施設は、規模とか大きさではないのです。 大切なのは、いかに子供に寄り添った心の通った支援なんです。規模なんか関係ないんです。はっきりいえば小学校の空きスペースで可能です。 市長、もう一度考え直してください。糸魚川には未来を考え将来のことを真剣に考えている子がたくさんいます。 後世に残る施設を作りたいのであれば、その世代の意見を聞くべきです。 まだ、他にお金を使わなければいけない事業が多数あるはずですよ。 どうか、もう一度考え直していただけることを説に願うばかりです。	整備と並行して、様々な子育て支援策を検討してまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
45	周りでも予算が大きいって話ばかりが耳に届いてきます。 子育て支援施設に関しては、私は子ども居ませんけど設けるのは大賛成です。 ただ基本的にこの規模の新しい建物が本当に必要なのか疑問です。 既存の施設などを最大限に活かして同じような機能を担えないのか？もっともっと様々な方法を考えるべきかな？と思います。 そしてさまざまな機能のモノを一つの場所に集中させる必要もないと思います。 (市が所有していて使用してない建物がある。閉校した学校などを使用出来る。既存の施設の空いているスペースを使う事で充分と考える。)	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。	D
46	3億円からはじまり、15億円になった予算… この市の規模、身の丈に全く合っていません。この施設でさえも人口が減っている中で維持して行くには相当なお金が必要です。 年数が経てば修繕費などもかかり、そのお金は今支援しようとしている子ども達に重くのしかかります。 建物にその予算を用意出来るなら、もっともっと違う形で支援や子ども達の成長の一助になるようなお金の使い方ができるのでは？と考えていました。 予算が大きい事が問題ではなく、その使い方が問題だと考えます。 優秀な方々、尊敬する方々が集まっているのですから、未来を担う子ども達に、より良いカタチになるように議論し、舵をきっていただきたいと切に願います。	施設整備とあわせて、保育環境の充実など、様々な子育て支援策を検討してまいります。 また、施設整備費について、できる限り縮減に努めてまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
47	駅北子育て支援複合施設の計画にお願いします。現在、産後ケアセンターの設立に向け活動しています。デイサービスやアウトリーチで令和5年度開設予定で、いずれ宿泊できるショートステイ型産後ケアセンターも作りたいと思っています。産後間もない「母親である女性」をターゲットに育児の支援や産後の体調回復への支援はもちろんですが、育児をしながら一女性として自分の生活を豊かに楽しく過ごしてほしいという気持ちで、産後ケアセンター設立準備をしております。出産後の数か月は、ほとんどの女性が幸せを感じつつ、現実には心身ともにつらい時期であるとも言えます。が、現状“自治体の努力義務”とされている糸魚川市の産後ケア事業やヘルパー事業は軌道に乗ってはおりません。支援が不十分である事を助産師として大変重く受け止めています。今計画において目指す「子育て支援」の中に、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援の充実を掲げていることから、私たちの行う産後ケアセンターも関与する、目指すものが同じであると期待せずにはられません。母親である女性がリラックスして日々を過ごし、健やかに育児を楽しんでいけるように支援することが求められています。私たちは女性の心身の健康のために新生児や乳児の預かりも実施いたしますので、提案されている一時預かり保育ともリンクします。確かに出生数は年々減少し、高いお金をかけて子育て支援の施設ばかりを優先させることに異論を唱える市民の方も多いことだと思います。が、人口を維持するには出生数の減少を食い止めることは絶対条件です。それには糸魚川で結婚し、出産し、育児をしていきたいと考えてもらえる魅力をもつしかないと思います。そのひとつとして、この上越地域で現在存在しない新たな施設「宿泊可能な産後ケアセンター」の設置をご検討いただけないでしょうか。 どうか駅北子育て支援複合施設内に産後ケアセンターを！！よろしく願いいたします。 なお、糸魚川病院の産科病棟も産後ケアを検討していると聞きましたが、「病院」でできる産後ケアと「産後ケアセンター」でできる産後ケアは意味もニーズも全く異なります。糸魚川病院があるから不要、ではありません。そこはご理解いただきたい重要な点です。大切なのは「ある」「なし」ではなく「ケアの内容と環境」と考えます。	産後ケアの設備を本施設内に整備することは難しく、別に実施を検討するとともに、産後ケアを含めた子育て支援活動と本施設との連携を進めてまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
48	駅北の子育て支援複合施設について 駅北の復興のイメージ 全体像があつての施設ならわかるのですが、単発で作ってもよくわかりません。 作って終わりの感じが恐ろしいです。 子育て世代だけでなく子どもから大人まで使える運動施設はどうですか？ 青海は遠い。またハピネスは子育てママは行けません プールまで作らなくてもゲートボール場や子どもが室内で遊べる遊具など揃えたら（0歳時から10歳くらいまでのスペース分けながら）良いのでは？ クライミングなどハピネスにないものがよいと思います。	駅北復興まちづくり計画における「にぎわいのあるまち」「住み続けられるまち」の更なる推進に向けた行動指針である駅北まちづくり戦略において、地区全体でまちの機能を担う複数分散型のまちづくりを目指しており、本施設は、子育て支援を中心とした機能の充実と多世代交流ができる子育て支援複合施設の整備を計画しています。	C
49	燕市に2024年度オープン予定の全天候型遊戯施設のような施設が良いです。このように広くて体を思いきり動かせるような遊戯施設が糸魚川にもほしいです。駐車場が250台というのも良いと思います。広い場所を確保してほしいので、建設予定場所を変更していただきたいです。 このような施設は魅力的なので、県内や県外からの集客も見込めると思います。 お金の問題があれば燕市のようにクラウドファンディングの利用も検討していただきたいです。きっと集まると思います。 こちらの基本構想も参考にしていただきたいです。 https://www.city.tsubame.niigata.jp/material/files/group/28/202103zentenkouyuugi_kihonkousou.pdf	駅北復興まちづくり計画における「にぎわいのあるまち」「住み続けられるまち」の更なる推進に向けた行動指針である駅北まちづくり戦略において、地区全体でまちの機能を担う複数分散型のまちづくりを目指しており、天候に左右されずに利用できる施設となるよう検討してまいります。	B
50	どうしてもこの土地でしか建設できないとのことであれば、2階はプレイルーム、1階にイベントスペース、子育て支援センター、一時預かり保育、駐車場としていただきたいです。子どもを連れて天候の悪い中50m歩くのは大変です。駐車場10台は少なすぎます。 多世代交流はキターレや糸魚川地区公民館を活用していただきたいです。場所だけあっても多世代交流は出来ないとします。イベントスペースやキターレ、公民館などを活用して交流できるようなイベントを企画していただいたほうが交流できると思います。	施設配置は、敷地の範囲内において検討してまいります。	C
51	今回できる施設について全く知らない子育て世代の人がいます。パブリックコメントを募集していることも知らなかったようです。子育て世代の方にアンケートをとって多くの子育て世代の意見を取り入れてほしいです。そのために保育園、小学校、支援センターなどでアンケートを実施してほしいです。	これまでの懇談等のご意見も反映してきており、今後も設計の段階等でご意見をお聞きしたいと考えています。	B

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
52	天候が悪い日でも屋内で思いきり遊べる施設が早くほしいです。4年後ではなくもっと早く利用開始できると良いです。	基本計画（案）のスケジュールで進めつつ、期間の短縮に努めてまいります。	C
53	急に出てきた15億円で建設の話。すでに、やまのい保育園に支援センターがあるし、青海、早川、能生にも施設があるにもかかわらず15億円もの税金を使って建設する意味が本当にわからない。しかも年間5000万円の維持費がかかるとか。今現在施設が無く足りなくて困っているならわかるが、この少子化にどこにそんな需要があるのか？あるなら示して下さい。今ある施設で十分なのは明確。やまのい保育園の支援センターはどうするのか？本当に市民の意思を無視しないでほしい！住民投票でもしてみたらいかがですか？ 今そんな箱ものは絶対に必要ありません。将来キターレのようにガラガラになるのがみえみえです。今ある施設で十分です。市民が一生懸命働いて納めている税金。使い方をよく考えて下さい。もっと糸魚川の若者が市外に出ていかない努力はできませんか？魅力ある糸魚川を作る努力がまったく見えません。ヒスイ、フォッサマグナだけではせっかくの新幹線の糸魚川駅も誰も降りません。 どれだけの人間が賛成しているのか、1人1人の市民の意見に真剣にしっかりと耳を傾けて下さい米田市長！ 15億円かけてまで建設する価値があるのか基本計画を見ても何一つ賛同できるものはありません。4万人切った糸魚川市、これからますます人口が減るのは明らかなのに15億円も無駄にして更に維持費を毎年5000万円払う価値がある建物とは到底思えません！ 今ある施設でできることを考えるべきです。閉鎖後の会社もあります。空き家など有効活用するのではなかったのですか？キターレもすでに賑わいも無く疑問？将来の魅力ある糸魚川を望むならまず、今糸魚川にいる若者がなぜ市外に出て行くのか？その理由を若者に直接聞くべきです！	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 また、基本計画（案）10ページの令和4年度の子ども・子育て支援に関するアンケート調査の結果において、屋内遊戯施設設置へのニーズは高いと考えています。 施設整備費について、できる限り縮減に努めてまいります。	D

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
54	この計画を見て、まず最初にガッカリしました。一生懸命考えていただいた内容だと思うので、そこに対しては申し訳なく思います。子育て支援施設ではなかったのでしょうか？多世代交流とは言っていますが、高齢者に寄ってるような気がしてなりません。 私はまだ子どもがいないギリギリ20代ですが、この先子どもを考えています。子どもが生まれた時にこの施設に行くか、子どもが欲しいとき相談に行くかと言われるたら恐らく行かない可能性があります。 相馬御風のギャラリーはいい感じがします。すぐ近くに相馬御風の家もありますし、市役所の近くに資料館みたいなところもありますよね。現在ある施設を使ってもらえるような工夫をもっとすれば、そのスペースは別のことに当てられると思います。図書もそうです。図書館をもっと使ってもらえるようにすればよいのでは？ 加えて、このギャラリーや図書スペースがあれば多世代が交流するか？しないと思います。本当にこのスペースで交流して欲しいのなら、交流を促進する何か（イベントやスタッフの声かけや…あとは何でしょうね？思いつきません）が必要だと思います。 すぐ近くのキターレでも様々なイベントや取り組みをしています。それでも多世代が交流することはとても難しいことです。施設があれば交流する、そんな簡単なことはありえないと思います。 あれこれ言ったのですが、実際高齢者が多い地域なので高齢者も使える施設になるのは仕方ないと思います。高齢者が使うことを反対している訳でもありません。 ただ、この施設は「子育て支援」がメインなのですよ？ 「似たような施設がまたできたね」ってなるような気がしてなりません。 子どもが少ない、子育て世帯も少ない糸魚川ですが、少ないからこそ手厚い支援が必要だと思います。子育てしやすいまちでなければ子どもは増えないです。 最初に子育て支援施設ができると聞いたとき、「子ども育てやすくなるなら…」と期待しましたが、今は正直産みたいとは思えないです。だって現状とあまり変わらないから。上越や富山に行きます。 多世代交流を反対している訳では無いですが、もう少し子育て支援に特化した施設にしたらいいと思いました。	駅北復興まちづくり計画における「にぎわいのあるまち」「住み続けられるまち」の更なる推進に向けた行動指針である駅北まちづくり戦略において、地区全体でまちの機能を担う複数分散型のまちづくりを目指し、子育て世代だけでなく、多くの年代や地域全体で子育てを応援する機運醸成も必要と考えており、その一助となるよう多くの皆さんから気軽に何度でもご利用いただける緩やかな交流の場とも考えています。	C
55	居住地区が能生なので100%利用しない。キターレ同様、維持費が掛かり税金の無駄な物は作らないで欲しい。	屋内遊戯施設等の子育て支援関連施設を整備することで、能生地域、青海地域の皆様からもご利用いただきたいと考えています。 また、運営費用の縮減に努めてまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
56	駅北の復興のための予算ならそのために使ったらいと思います。 子育て支援施設というところで考えると、長岡市のでくてくのような駐車場、外と中のバランスがとれる広さ環境が理想で、駅近くに作ること自体が賛成できません。長岡市にもぐんぐんという駅の近くにも支援センターがありましたが、地下に広い駐車場があり、雨の日でもエレベーターで直接室内に上がっていけるようになっていました。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。	C
57	糸魚川の方には図書館もありますし、ある程度静かであることが望ましい図書スペースが一階で二階が子育てエリア、というのは走り回りたい子どもたちにとって騒ぐことを禁止されるようなもので現実的ではないと考えます。 図書スペースかつ多世代交流というところで考えるならば、飲食OKのカフェスペース、などが一階にあり、そこで本も読めるという方がずっといいです。 子ども、と一口にいっても乳幼児と児童では体の大きさや遊び方も異なり、そう言った意味で能生の支援センターと児童館が一階二階で分かれているのは、安全面でも利用者目線でもとても理にかなっていると思いました。	図書スペースは、賑やかでも良い場所と一定の静かな場所を検討するとともに、場所によっては、飲食しながら本を読むことが可能となるよう検討してまいります。 基本計画（案）の図書、学習スペースに「会話や一定の飲食ができるスペースを検討」を追記します。	A
58	できることなら大火の予算に頼らない形で、廃校校舎などを活用し、子どもたちが雨の日でも思いっきり走り回れる体育館くらいのスペースでのびのびと遊ばせてあげたいと思います。	プレイルームについて、安全を第一としながらも、「子ども達が遊びやすく居心地の良い室内空間」を検討することとしています。	B
59	今の計画のまま、駅北に子育て支援施設ができたとしても私は子供達を遊ばせに行かないでしょうし、駅北にできて、それでも遊ばせに行きたいと思うような場所を実現するには、多数決では少数派になってしまう現役子育て世代の意見を聞いてほしいと願います。 計画が遅れて私たち世代の子どもが大きくなってしまったあとでも、市外県外からも遊びに来たくなるような施設ができれば、糸魚川市にとってはプラスになるでしょうし、この先住み続けるすべての人たちにとって、それを望むことが糸魚川の存続に繋がると考えます。 糸魚川にとってより良い方向に進みますように心から願います。	これまでの懇談等の意見も反映してきており、今後も設計の段階等でご意見をお聞きしたいと考えています。	B
60	安全性の問題や、コロナ禍の制約など、責められないことを第一に優先しすぎて、走ってはいけません、マスクを外してはいけません、登ったらダメ、触ったらダメ、など禁止事項ばかりで、本当に連れて行った方が子どもを止めるのが大変なので連れて行きたくないと思うような場所ばかりです。	プレイルームについては、遊びやすく居心地の良い空間を検討し、市民利用を第一としながらも、市外の子育て世代からも目を向けてもらえる施設整備に努めます。	B

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
61	ハコモノ必要ですか？ 誰が必要だと言ったのか？ キターレだって何故作った？ 平日の昼間の利用者状況知ってるのか？ 広場の方が良かったのに。子育て支援は良いけど、若い人が市外へ出ていってしまっている現状を解決しないといけないのに、ハコモノ作って解決するとはとても思えない。企業誘致や空き店舗利用などして働く場を提供する方にお金を使うべきだ。 無駄遣いしないでいただきたい。 我が家の高校生の息子に糸魚川に何があればいいか聞いてみた所、カラオケ、ボーリング場、映画館、マクドナルド等と言っていた。 実際に子育てしている人達に聞いたのか？ 一部の意見と年寄りの思い込みでハコモノを作るなら、整備費14億8千万円と運営費の年間5千万をドブに捨てているのと同じだ。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 また、働く場の提供については、引き続き、創成塾等の創業支援事業を進めてまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
62	数年後、糸魚川へのUターンを考えております。ご縁があって、糸魚川の開業助産師とともに、産後ケアセンター設立に向けて活動をさせていただいております。3人の子供の母でもあり、SNS等で発信されている糸魚川の子育て情報（あそびば、おさがり交換会、キターレでのイベント等）を拝見して、とても魅力的に感じております。 駒北子育て支援複合施設内に産後ケアセンターの設置検討のお願い 整備目的の＜少子化に対応した子育て支援＞のところに、“子どもを産み育てやすい環境の整備”とありました。プレイルームや、支援センター、一時預かりや相談室等、設置予定であることとても嬉しく、完成したらぜひ利用したいと思います。 ただ、1つ抜け落ちている視点がある気がしています。 予定されている施設の子育て支援フロアは主に、母子で、親子で利用することが想定されています。しかし、それだけでは、今、様々な問題（少子化、核家族化、共働き世帯の増加、待機児童、ワンオペ育児、…）のある現代社会のなかで、育児をするママたちを十分にサポートすることができないと、自分自身の経験から確信しています。支援センターやプレイルームで遊ぶ我が子を見守る、我が子の成長を感じられるし、子どもをのびのび遊ばせられて満足、な反面、自分自身もやりたいことがあるのにできない、子育てに疲れて気力も沸かない、…。これを解決するために必要な視点、それは、ママが主役、ママである女性自身が“自分を生きる”時間や環境を作れるようサポートすることだと、考えています。 子育て支援において、「ミルクピッチャー理論」という考え方あります。ママはポット(ミルクピッチャー)、赤ちゃんはマグカップに例えられます。ママのポットはミルクでいっぱいになって初めて、赤ちゃんのマグカップにミルクが注がれます。ママがたくさんの人からケアを受けて、支援を受けて、愛を受け取って、ママのミルクピッチャーがいっぱいになって、ママの体も心も溢れるくらいにいっぱい満たされて初めて、我が子にも家族にも愛情を注げるようになるというのが、この考え方です。ママが我慢を続けてカラカラになってしまったら、我が子にも家族にも、優しくできないし、愛情も注げません。このことから、ママをサポートすることに重点を置く産後ケアセンターの設置をぜひお願いしたいと思います。	産後ケアの設備を本施設内に整備することは難しく、別に実施を検討するとともに、産後ケアを含めた子育て支援活動と本施設との連携を進めてまいります。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
63	一時預かりの機能として、“育児疲れの解消や親の病気、冠婚葬祭、多様な働き方に対応し、安心して子どもを預けられる場所を整備します”とありますが、疲れていないと利用できないのでしょうか？“育児疲れ”と書かれると、自分もまわりからも、育児に疲れていると認められることに抵抗があります。ネガティブな捉え方ではなく、“リフレッシュのため”の利用はできませんか？①にも書いたように、母親をいたわり、ねぎらい、心身ともに健やかな状態を取り戻すことこそ、結果として、赤ちゃんを大切に育てていくことにつながります。また、ママたちは育児する期間にも、友人と食事をしたり、夫婦2人きりの時間を設けたり、1人の時間を過ごしてリフレッシュしてもよいはずです。預けること肯定的に捉えられる雰囲気づくりを大切に、利用しやすい一時預かり施設になることを期待します。	27ページの一時預かり保育の説明を「親の病気、冠婚葬祭、育児対応のリフレッシュ、多様な働き方に対応して」と変更します。	A
64	図書コーナーに疑問を感じます。そう遠くない位置に糸魚川図書館があるのに、この規模の図書コーナーを設置する必要があるのでしょうか。計画（案）にある“誰もが、居心地よく読書と学習ができる学びの場所”は、糸魚川図書館やその他図書館が担うことのできる機能ではないのでしょうか。子育て支援施設として充実させるならば、児童図書のみを設置としてはいかがでしょうか。子連れで本を借りると、帰りの荷物が重くていつも苦勞しています。金沢市でも児童館に図書館が併設されているところがあって、行き先が一か所で済む手軽さがあり、助かっています。	近年は、市民が集う場として、会話が可能、飲食が可能といった図書館が市外の自治体で設置され、多くの人から利用されています。市では、図書コーナーを読書や学習での利用のほか、気軽に利用できる居場所となるよう検討してまいります。このことから、28ページの図書、学習スペース「会話や飲食ができるスペースを検討します」を追記します。	A
65	また、里帰り出産した際に子供を連れて糸魚川図書館に行ったときに感じたことが2点あります。1つ目に、靴を脱いで抱っこ紐から赤ちゃんをおろして、座って本を読んであげたり、おはなし会に参加できたりできるスペースがあったらいいなと感じました。2つ目に、トイレが子連れでも利用しやすいよう、子供用のトイレやベビーシートベビーチェアを設置した大きな多目的トイレがあったらいいなと思いました。以上の理由で、駅北に図書館を入れるのであれば、子供連れに特化した利用しやすい図書コーナー（子ども図書館）の設置を期待します。	プレイルームに絵本コーナーを設置する予定であり、25ページの機能・構成のイメージにおいて、子育て支援フロアに「靴を脱いで利用する場所」を追記します。	A

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
66	食事ができるスペースが確保される予定であるとのことで大賛成です。例えば、午前中に支援センターを利用、昼頃帰ろうとすると、子どもはお腹がすいてぐずり始めます。帰る前に、そこで食事ができること、一緒に遊んだ親子と食事をしながらコミュニケーションがとれることはとても魅力的です。感染対策に充分配慮する必要はあるかと思いますが、子連れで食事しやすいスペースになることを期待します。	食事スペースや、遊ぶ子どもを見守るスペースなど、利用しやすい環境を整えるとともに、29ページにおいて「子ども用トイレ」を追記し、衛生に配慮した場所となるよう考えています。	A
67	現在の計画案で、本当に多世代交流が生まれるのか疑問です。“世代ごとに区切られたスペースを配置した施設”にみえてなりません。例えるなら、ショッピングモール。いろんなお店が入っているけど、お客さんは目的のお店にしか行かない。ほかの客さんのことを気にしたりするでしょうか。挨拶程度はするでしょうが、それ以上の何か生まれるでしょうか。本当にこれで、思い描いているような多世代交流ができるのでしょうか…。にぎわいは“つくるもの”ではなく、“うまれるもの”だと思います。いろんな世代からの要望があり、公平に、だれもが使える施設にしたい、見えるかたちでそのように計画しなければならぬのは、よくわかります。ですが、“利用する自分だけが見える”ではなく、“自分と他の人がここで出会い、コミュニケーションをとり、輪が広がる場所までイメージできる”という視点が大切だと思います。	緩やかな交流の場として多くの皆さんからご利用いただける場所としていきたいと考えています。	B
68	子育て支援と銘打っているのであれば、子育て支援に振り切った施設にしてはどうでしょうか。その中や、まわりで子育て世代だけでなく、他の世代の活躍が必要になり、結果として、人の流れやにぎわいがうまれることになるのではないのでしょうか。例えば、施設内だと、遊び場の見守り、昔遊びの伝承、手遊び、読み聞かせ、赤ちゃんとのふれあい体験、等。施設の外だと、近隣の飲食店利用者増、他店舗も子育て世代向けのアイデア考案、人の流れがうまれあらたな商業店舗の誕生、等。施設の中に、無理に多世代交流を入れ込まなくとも、子育て支援施設を思いっきり作り上げることで、その波及が広がっていくことが想像できます。また、少子化で、子どもが外で遊ぼうと思っても、近くに住んでいる友達がいない、1人で遊ばせられない、親もついていなきゃいけない。この子育て支援施設ができることで、各地区の子供たちが集まる場所になることで、繋がり、1人ではできなかったけど、子どもどおしで、家族ぐるみで、みんなであんなことこんなことやってみよう、行ってみようにつながるのでは、と期待しています。	子育て支援の拠点であることに変わりなく、立地適正化計画や駅北まちづくり戦略等の計画にて、地域における波及効果などを期待しているところです。また、子育て世代だけではなく、多くの年代や地域全体で子育てを応援する機運醸成も必要と考えており、その一助となるよう多くの皆さんから気軽に何度でもご利用いただける緩やかな交流の場を目指しています。	C

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映 状況
69	「施設計画の検討」 現計画の「整備費用概算」（P35）では、用地費（建物・駐車場）として約1億5,000万円を予定し、民間が所有する土地（以下「民有地」）を買取る計画となっています。 ところが、「3 施設計画の検討」（P21～）では、市の所有地（旧東北電力ビル）以外に、市が民有地を買取り、建物・駐車場の整備に充てるという内容の記述が見られません。 本来、「整備費用概算」において予算の計画を示すのであれば、その根拠・裏付けとなる計画内容を「（1）土地利用計画」及び「（3）駐車場計画」において記述（説明）することが必要であって、計画の整合性が担保されていないと考えます。 よって、以下を追記、加えて配置図による明確化を求めます。 なお、「スケジュール」（P41）にも「用地取得」の記述がありません。 「（1）土地利用計画」（P21）中、以下を記載 ○敷地 面積 1,498.44 m² 〈内訳〉市有地（旧東北電力ビル）面積 ＊＊＊＊＊m² 民有地（買取り） 面積 ＊＊＊＊＊m² 「（3）駐車場計画」（P23）中、以下を記載 ○駐車場（北側） 面積 ＊＊＊＊＊m² 〈内訳〉市有地（既設展望台駐車場） ＊＊台 面積 ＊＊＊＊＊m² 民有地（買取り） ＊＊台 面積 ＊＊＊＊＊m²	土地利用計画及び駐車場計画に所有地等がわかるように記載します。	A

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
70	「施設計画の検討」「整備費用概算」 整備費用を削減するため、以下のとおり計画の見直しを求めます。 ① 市が所有する旧宮田ビルの敷地を優先的に利用すべき 市は、現計画の旧東北電力ビルの他、近隣の旧宮田ビルを無償で取得、所有しています。議会や市民に対して提示できる利用計画がないのであれば、民有地の買取りを見直し、当該ビルの敷地を利用する計画とすることを求めます。 なお、2棟の間にある個人所有地については、施設完成後の土地利用調整や換地等の措置を予め所有者と協議することで、解決できるのではないかと考えます。 ② 駐車場（隔地）の買取りをやめ、「大町親水市民公園」を駐車場に改修すべき 経緯・賃料等は不明ながら「駐車場（隔地）」（P23 図）は、今現在、市（都市政策課）が管理する駐車場として、全面、誰でも利用できる状態となっています。 現計画では、これを追認するかのように市が買取る計画（約6,000万円）となっており、選定方法が不明瞭であるほか、施設利用者（にぎわい・子育て両方）の利便や量的ニーズを熟考して計画されたものなのか疑問です。 このため、駐車場（隔地）用地の買取り等を見直し、計画施設、キターレ及び商店街に近接し、利用者にとってより利便性が高いと考えられる「大町親水市民公園」を駐車場に改修して利用する計画とすることを求めます。 ③ 上記①及び②による「整備費用概算」の削減を求めます。 ○用地費（建物・駐車場） ▲約1億5,000万円 ○工事費（駐車場（展望台側）） ▲ 約 800万円 ○旧東北電力、旧宮田ビル2棟の解体費用約7,500万円 削減計 ▲約8,300万円 ＊過去の市議会答弁による	旧宮田ビルの敷地につきましては、計画地と一体的に活用することが難しい状況であります。北側駐車場は、市道浜町通り線の拡幅と合わせて交渉し、計画しているものであります。大町親水市民公園はお譲りいただいた経過や、防災公園として整備経過があり、十分な検討が必要と考えております。検討を進めつつ、引き続き、整備費の縮減にも努めてまいります。	C
71	「事業手法の検討」（P40） ①指定管理者②DBO方式③PFI方式の3方式が示され、「②方式による事業実施を目指し、応募者不在の場合は指定管理者制度等を検討…」とあります。 各方式に関して、市民が容易にイメージ、より理解ができるよう、市所有の同様施設における各方式の導入実績の有無、有の場合の施設名（運営会社名等）を比較表に例示を求めます。	39ページの事業手法の検討において、市内事例を追記いたします。	A

No.	寄せられたご意見	市の考え方	反映状況
72	大金を掛けるのは反対です。内訳がどうしても全て税金です。市長は糸魚川市という企業の経営者という視点を持ってもらいたい。押上駅開業も同じ。50年の悲願と言っていましたが、50年前とどれだけ状況が変わっているか。今後さらに人口減少するかを試算して発表している行政が、なぜこれほどの大金をまた掛けようとしているのか。その後の維持費を掛けようとしているのか、理解できません。新しい立派な建物じゃなければ街中は賑わわないのでしょうか。新しい立派な建物ができれば街中は賑わうのでしょうか。出生率が上がるのでしょうか。今ある建物をリノベーションし、活用してほしいと思います。SDGsに逆行しています。もっと活きたお金の使い方をしてもらいたい。税金を本当に大切に使ってほしい。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 引き続き、整備費用、運営費用の軽減に努めてまいります。	D
73	基本計画案を拝見して本当に子育て世代の意見が反映されているのか疑問に思いました。まず、糸魚川子育て支援センターの移設ということですが、建築モデルを見る限り、単純に場所が変わるだけであってこれでは新たに建築する意義が感じられません。プレイルームをどのように活用していくかにもよるかと思いますが、子育て支援複合施設と銘打っているのにスペースとしては2階の一部分としか言えません。多世代が交流できる場所を目指しているとのことですが、この点に関しては公民館等で役割は担えますし、また図書スペースは市立図書館、ギャラリーは相馬御風記念館など既存の施設があります。2階建ての施設を建築するにあたって、子育て支援に特化した施設を改めて白紙の状態から検討していただくことを切実に希望いたします。参考例として、県内にあたっては、燕市にて来年度オープン予定の「全天候型子ども遊戯施設」を参考にさせていただきたいです。	本施設は、当該地における駅北大火からの復興事業として計画しているものであり、子育て環境の課題解決と立地適正化計画に基づく中心市街地への誘導施策にも即して取り組んでいるものであります。 他市の事例を参考にしつつ、施設機能と構成を考えており、天候に左右されずに利用できる施設となるよう検討してまいります。	C

駅北子育て支援複合施設 民間事業者への聞き取り調査の概要

- ・ 時期及び対象 令和4年2月 市外事業者 8社
令和4年5月 市内事業者調査 5社

・ 意見概要

()内は事業者数

質問事項	意見等
立地条件等の評価	・ 駅前であることを評価する意見が多い。 ・ 子育て支援施設としては悪くない立地であるが、人口規模や防災面を懸念材料とする意見があった。(C・D・E・H) ・ 出生者数減少のなか、新たな子育て支援施設を整備・運営することへの懸念はあるとの意見があった。(I) ・ 子育て世代だけへの対応でなく、施設周辺の地域との交流と連携が大事との意見があった。(I)
計画内容の評価	・ 子育て支援施設のみではなく、未就学児支援や親同士のコミュニティづくり、高齢者福祉等、関連する事業を一体で実施するほうがよいのではないかという意見があった。(A・E) ・ 高齢者を含めた多世代の交流活動とそのスペースについて、好意的に評価できるとの意見があった。(I・J) ・ 屋内遊技場の設置を好意的に評価する意見があり、なるべく広い方が良く、近隣市町村の事例は参考になるとの意見があった。(I・J) ・ ほとんどの企業が、子育て支援施設単体で採算をとることは難しく、何らかの行政支援が必要であるとしている。(B・C・F) ・ 収益事業の実施については、多くの事業者が商業や飲食の採算性から設置は厳しいとの意見だった。(A・B・C・E・F・G・I) ・ 例えばコンビニ等の一定の利便性があることで人が集まることもあるという意見があった。(J) ・ 事業スケジュールはどの事業者も原案で問題ないとの回答。 ・ 事業期間は、参画形態によって様々だった。 詳細が決まっていない状態のため答えにくいという回答もあった。 DBO方式等：10～20年 (C・G・H) 指定管理：5年 (F)、10年 (H)

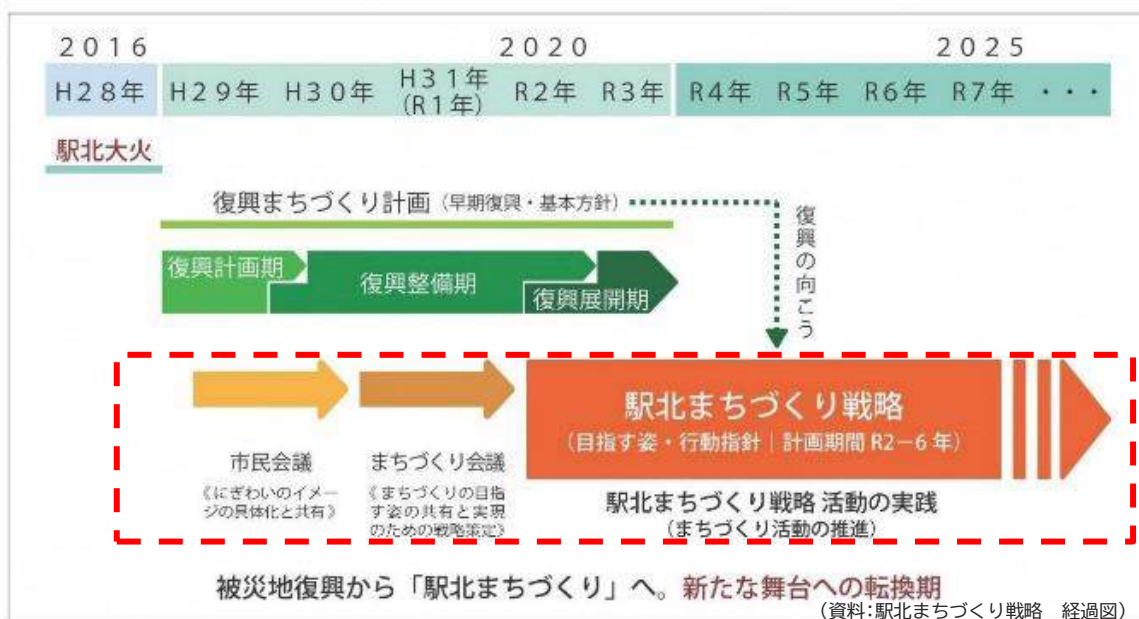
質問事項	意見等
計画内容の評価	・計画上の職員配置数が少なく、相談業務や掃除、衛生管理等に手が回らない可能性があるとの意見があった。(I) ・重症者(医療的ケア児)向け放課後デイサービス機能の併設を期待する意見があった。(M) ・先に運営者を定め、設計と建設に運営者の意向を反映した際、数十年の先に施設に求められるものが変化した際に建物を含めて柔軟に対応ができるのか心配。(J)
事業参画の可能性	・指定管理者制度による参画を希望する意見が多くあげられた。(D・F・H) ・指定管理者制度以外では、DBO方式の可能性はあると回答する事業者も複数ある。(A・C・F・G・H) ・指定管理者制度の場合でも、運営者の公募を早期に行い、運営事業者の意見を設計に反映させることを重要とする意見が多い。また、リース方式の提案もあった。(B・C・K) ・DBO方式よりもBTO方式のほうが納期やコストの短縮が可能であると回答する意見があった。(G) ・DBO方式の協力体制組成にあたり運営者を探すのが課題であり、方法を考えたいとの意見があった。(K・J) ・現事業に加えて、幅広い視野をもって事業に取り組みたいとの意見があった。(I) ・すべての市外事業者が、地元事業者との連携を重視する傾向にあった。 ・事業参画の可能性は13社中12社が前向きな回答であった。
市への提案・要望	・現地を視察し、市の計画の具体化と合わせて今後も参画検討するとの意見が多かった。 ・子育て支援事業の市ビジョンや、本施設の具体的な位置づけに関して質問が複数あった。 ・全国的には脱炭素社会の実現を目的に木材の利用促進が進められている時代なので、糸魚川の木を使った木造建築への期待の意見があった。(J)

(仮称) 子育て支援施設整備基本計画の策定について

1 経過

(1) 復興計画における「にぎわいの拠点施設」

駅北大火後の復興まちづくり計画において「にぎわいの拠点施設」の整備が計画され、駅北復興まちづくり市民会議、駅北まちづくり会議を経て、駅北まちづくり戦略のなかに「にぎわいの拠点施設」の方向性を示しました。

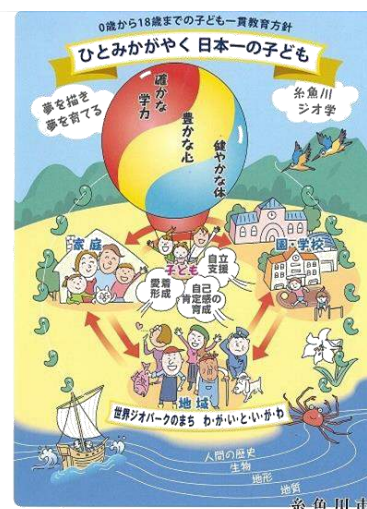


- 駅北復興まちづくり市民会議 (H30) にぎわいの定義づけ、3つの提案活動
- 駅北まちづくり会議 (R1-R2) 駅北まちづくり戦略の策定 (別紙：概要版)
 - ▶ 3つの取組の方向性 (子育て、地産地消、高齢者元気) と6つの実践活動
 - ▶ 拠点の方向性 (複数分散型のまちづくり、子育て支援を中心とした機能)

(2) これまでの子育て環境の課題

子ども一貫教育基本計画では、豊かな心の発達や成長の基礎となる乳幼児期を特に大切な時期としています。その時期は家庭での愛着形成に努め、地域や園などと連携して、子どもの自己肯定感を高め、道徳性や社会性を育む必要があります。

また、第1期子ども子育て支援事業計画の検証において、保護者の就労状況に合わせた保育形態、子育て世代の居場所、屋内遊戯施設など、需要を把握したうえで設置、整備等を検討していくこととしています。



●施設整備の経過 (まとめ)

- ▶ 駅北まちづくり戦略の推進 (まちなかの機能強化と実践活動の促進)
- ▶ 子育て環境の充実 (家庭での愛着形成の促進、保護者の状況にあわせた対応)

2 (仮称)子育て支援施設整備の施設機能の検討

(1) 柱とする(仮称)子育て支援施設の機能

- ①子育て相談(支援センター)
- ②屋内遊戯場
- ③一時預かり保育

(2) 懇談会の内容

基本計画は、各団体との懇談会を経て策定します。市の提案をもって複数の市内団体と3回程度の個別又は全体での懇談会を予定しています。

基本計画策定後は、実施設計、整備工事と進み、施設をオープンしていきます。

- ア 子育てしやすい暮らしを目指した取組等で期待したいこと。
- イ 子育てに関することで、施設利用の促進につながることを。
- ウ 上記2点に関連して、施設構成や規模等として考えられること。

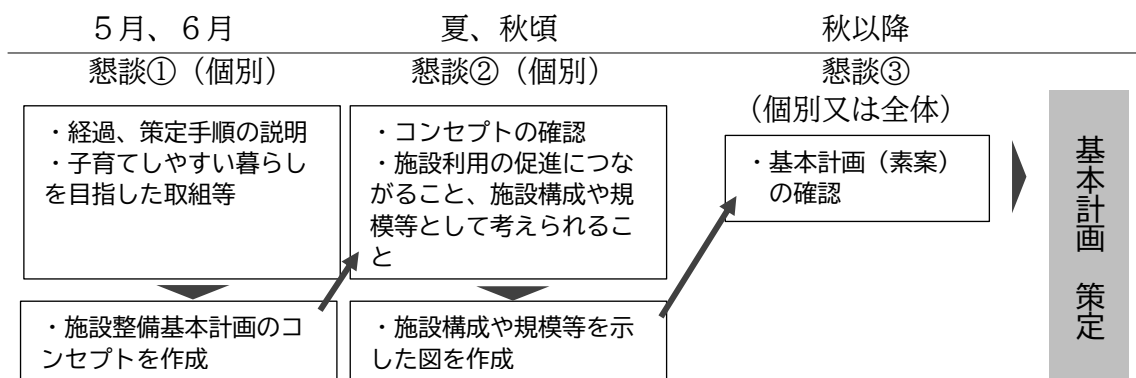
懇談①
懇談②
懇談③
(全体確認)

【懇談を予定している団体】

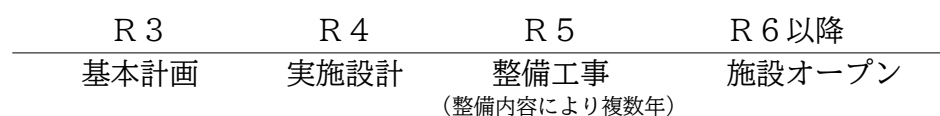
子育て関係者(保護者等)、子育て・教育関係団体、地元自治団体
市内経済団体、市内まちづくり団体 等

(3) 基本計画策定のスケジュール

▶令和3年度



▶施設オープンまでの流れ



3 （仮称）子育て支援施設整備基本計画の骨子（案）

1 基本計画の概要

- (1) 目的と経緯
- (2) 計画の位置づけ（既存計画との関係）

2 現状と課題

3 施設整備の基本的な考え方

(1) 検討方針

①基本理念（施設コンセプト）（例）

「愛着形成による郷土を愛する子どもが育つ場所
みんなが「遊びが学び」を育むところ
自分で考え、判断し・実行できる子どもの遊び場」

②基本方針（目指す方向性）（例）

- ・乳幼児期、低学年児童の親子の居場所づくり
- ・家庭、地域等の連携による子育て世代への多様なサポート
- ・駅北の機能充実による暮らしの向上

(2)必要な機能と効果等

4 施設計画案

- (1) 施設規模
- (2) 機能の特徴

5 実現に向けての検討

- (1) 施設整備、運営手法の検討
- (2) 概算工事費の検討
- (3) 事業スケジュール
- (4) その他

●子育て支援施設 屋内遊戯場のイメージ写真



【参考】市内子育て支援及び児童数等の状況

(1) 糸魚川子育て支援センターの状況

子育て支援センターは、3歳未満の乳幼児とその保護者を対象に居場所を提供し、育児不安の相談や指導をする場です。

- ・所在地 糸魚川市上刈 1-14-1 やまのい保育園内 糸魚川子育て支援センター

建築年度	床面積	構造
平成24年(2012)	123 m ²	木造

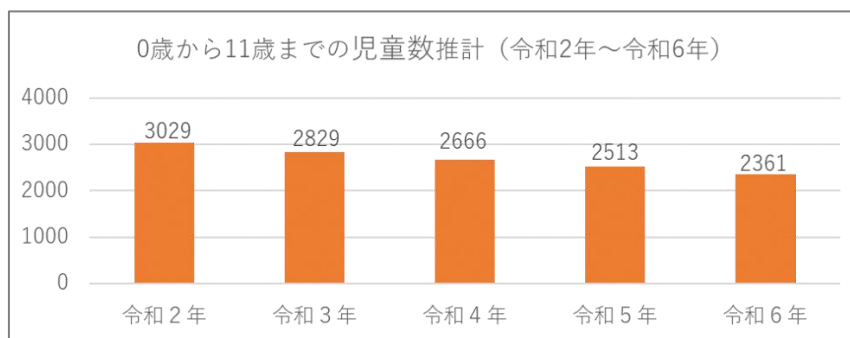
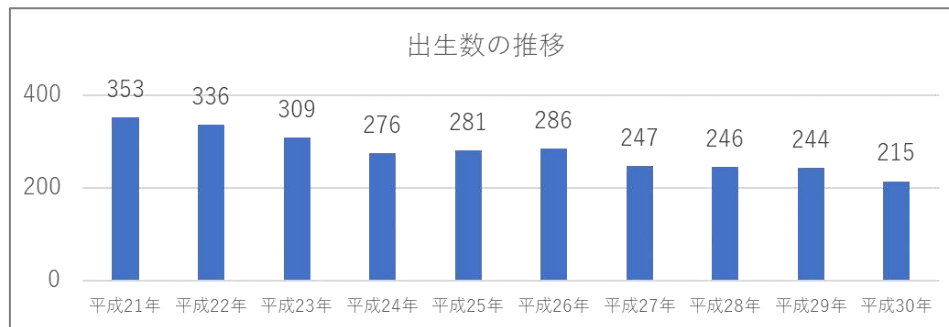
- ・利用状況 (単位：人)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
7,347	5,734	7,092	7,419	7,575	5,678

- ・職員配置 職員2人
- ・運営費 約800万円(令和元年度)※保育所内併設のため、建物維持管理費を除く。

(2) 市内出生数と児童数の推計

出生数は減少傾向で、平成30年は10年前の6割にとどまります。0歳から11歳までの児童数は減少し、令和6年には、2,361人となる見込みです。



問い合わせ先

〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1丁目2番5号
 糸魚川市 産業部 都市政策課 復興推進係
 電話:025-552-1511(内線2383) FAX:025-552-7372
 E-mail fukkou@city.itoigawa.lg.jp

駅北子育て支援複合施設 2巡目懇談会 概要

- ・実施期間 令和3年5月から11月まで（1巡目5月～7月、2巡目9月～11月）
- ・実施団体 延べ31団体、268人（1巡目13団体72人、2巡目18団体196人）

懇談における子育て機能に関する主なご意見

区分	主な機能	意見等
子育て機能	子育て支援センター	・やまのい保育園併設の子育て支援センターはなくなると理解した。 ・子育て支援センター移設で、めだか園の手狭感を解消できるのか。
	一時預かり保育	・当日に急遽預けたいときもあるので、柔軟に対応してほしい。 ・一時預かりなど、有料でもおかしくはない。（必要な負担） ・週末出勤の人には、休日・夜間の一時預かりは必要だと思う。
	屋内遊戯場 プレイ ルーム	・横幅だけでなく高さがある空間で、広く遊べると良い。 ・小学生を含めて、広い年代の子どもたちが遊べる場所であってほしい。 ・子どもと2人で静かに遊びたいときもある。
	スペース	・飲食スペースに手洗い場があると良い。 ・フリー飲食スペースとプレイルームの隣接は衛生的に気になる。 ・えほんコーナーでは、ある程度の静音性がほしい。
	遊具	・「遊びながら学び・育つ」のコンセプトに沿った遊具はどうか。 ・ふわふわドーム、ボールプール、すべり台、ネットアスレチックなどの導入を希望する。 ・屋内遊具を含めて室内全体を民間から提案できないか。
行政窓口		・市役所こども課を施設内に移設してはどうか。
屋外施設	屋外広場	・外でも遊べるところがあればうれしい。
	駐車場	・冬にこの施設を利用するには駐車場が近い方が良い。 ・施設からの子どもの飛び出し、市道と施設の間の歩行が気になる。
	隣接ビル	・多額の費用で改修して、数年後に改築するなら壊したほうが良い。
運 営		・実績、ノウハウがあり、運営員の指導がしっかりとできる事業者を希望する。 ・職員対応や施設事業などのソフトの事業に期待している。 ・収支を含めてどう運営するかが重要である。
そ の 他		・靴を脱いで遊べるのはとても良いと思う。 ・調乳できる設備や部屋、大きな荷物を預ける設備がほしい。

これまでの懇談等で意見のあった施設機能

区 分	意 見 等
観 光	海を望む施設
防 災	津波の避難場所、災害時の避難所、災害備蓄倉庫
教 育	図書館
商 業	高齢者がお茶を飲み話せる場所、駄菓子屋、フードコート、こども食堂、フードバンク、母親の癒しスペース（ネイル、マッサージ等）、学校の購買のような場所（パン）、温浴施設、コンビニ、ブック＆ランドリー、シェアオフィス
住 ま い	共同社員寮、子育て世代向け賃貸住宅群
集会、広場	高齢者支え合いセンター、高齢者対象の体操ができる場所

駅北子育て支援施設基本計画の策定について

1 経 過

子ども一貫教育方針、駅北復興まちづくり計画、駅北まちづくり戦略を踏まえて、まち全体の機能強化と子育て環境の充実を図るため、糸魚川市屋内遊戯場、子育て支援センター、一時預かり保育の機能を持つ「駅北子育て支援施設」の整備に向け基本計画を策定します。

○施設に市が備える3つの子育て支援の機能

・糸魚川子育て支援センター

やまのい保育園から移設し、多様な子育て相談や情報提供に対応できる環境を充実します。なお、移転後のスペースは、利用者が増えている発達支援センターめだか園で活用します。

・屋内遊戯場

これまでのアンケート等で保護者から整備を希望する声をお聞きしており、子どもが雨天時、降雪時でも遊べ、支援センターと合わせて、親が集まり交流できる子育て世代の居場所をつくれます。

・一時預かり保育

保護者の多様な就労状況に合わせ、夜間や休日保育などの需要を見定めながら、柔軟な保育環境の充実を図ります。

2 第1回懇談の概要

(1)実施期間 令和3年5月から7月まで

(2)実施団体 13団体 72人

(3)主な意見等

- ・子育て支援センターや屋内遊戯場について、利用者の年代や兄弟がいるなどの家庭環境を考慮して、施設整備や事業等を検討してほしい。
- ・市外の施設で、年齢制限によって子どものやりたい遊びができなかったこともあった。親が見渡せるところで、子ども達が自由に遊べる空間を作してほしい。
- ・駐車場が離れていると雨天時の移動は大変だが、駐車場と施設の間に屋根を取り付ける等の整備をするなら、その経費で施設をより充実させてほしい。
- ・子育てにおける負担感が少しでも解消し、親の孤立感が払拭できるような施設となるような運営を期待したい。
- ・まちとの関わりがもてるような施設構造、設備を考慮してほしい。 等

3 施設概要

ひとみかがやく 子と親が 遊んで学べる場所

子どもが遊びを通じて学ぶ成長の場として、また、親も様々な交流・活動・参加が可能で、居心地が良く気軽に何度でも訪れたくなる子育ての空間と機能を提供します。

一時預かり保育

～安心して子どもを預けられる場所～

- ・利用は5人/日を想定。
- ・事前予約制とし、休日・夜間保育の需要を見定める。

子育て支援センター

～交流のきっかけづくりや悩み相談ができる場所～

- ・3才未満の乳幼児と保護者が利用
- ・利用は15組/日を想定。

駐車場

- ・北側に約50mの隔地に27台停車できる駐車場を整備。
- ・施設前面に設ける庇や屋根により乗降時に雨や雪に濡れないような配慮。

ホール

- ・下足の範囲によっては、下足置き場やベビーカーなどを置けるスペースを確保。

多目的スペース

～親同士のコミュニケーションや活動を育む場～

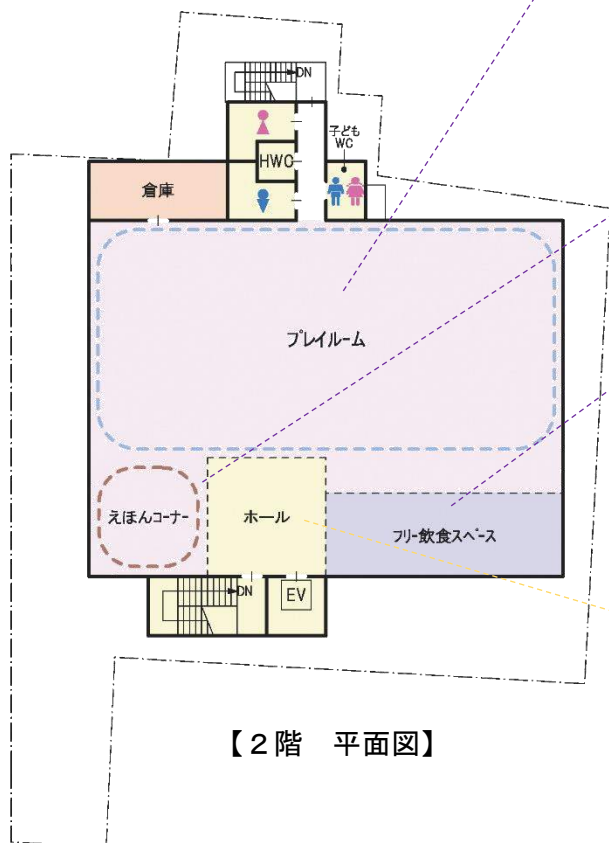
- ・母親クラブ等の利用者団体等の活動の場
- ・地域で活動する団体等の会議として20人程度の利用も想定



【注意】上記の間取り、屋根構造、屋内空間等は、今回の懇談で施設イメージをもってもらえるように作成した参考となる図です。具体的な懇談の状況等を加味して来年度以降の設計に反映していきます。

子育て世代の皆さんに、特に意見を聞きたいこと

①遊戯場や各種スペースの広さ ②屋内遊具のイメージ



【2階 平面図】

プレイルーム ～安心して子どもが遊べる場所～

- ・0才から6才程度の利用を想定。ブロックなどの遊具備品で年齢層の自然な分けを検討
- ・大きめな遊具（すべり台、ロープ遊具等）設置を検討。
- ・遊びやすく、居心地の良い室内空間を検討。
- ・家ではできない遊びができる場所。

えほんコーナー ～絵本を通じた会話等を育む場所～

- ・声を出して絵本を読めるコーナー。
- ・図書館との連携による絵本の定期的な入替等を検討。

フリー飲食スペース

～子どもと親、親同士が楽しく過ごせる場所～

- ・プレイルームで遊んでいる子どもを見通せる。
- ・手洗い等の設備を設置。

ホール

- ・下足の範囲によっては、下足置き場やベビーカーなどを置けるスペースを確保。

広さのイメージ

- ・プレイルーム (約 300 m²)
 - 糸魚川地区公民館の3階ホール (263 m²)
 - 能生生涯学習センター3階ホール (220 m²)
 - きらら青海カルチャールーム大 (210 m²)
- ・フリー飲食スペース、多目的スペース (約 50 m²)
 - 糸魚川地区公民館の1階プレイルーム (45 m²)
 - 能生生涯学習センター工作室 (60 m²)
 - きらら青海カルチャールーム小 (56 m²)
- ・子育て支援センター (約 75 m²)
 - 糸魚川地区公民館の2階和室 (68 m²)
 - 能生生涯学習センター2階第1会議室 (83 m²)
 - きらら青海2階ワークルーム (72 m²)
 - 能生子育て支援センター (118 m²)
 - 糸魚川子育て支援センター (123 m²)
 - 糸魚川東部子育て支援センター (108 m²)
 - 青海子育て支援センター (74 m²)



【周辺地図】

4 施設運営検討等

(1) 施設運営の検討

民間活力導入方法を検討するため、11月以降に可能性調査を実施し、民間事業者の活力を導入できる運営等の可能性を検討します。

(2) 今後のスケジュール

令和3年度 基本計画の策定

令和4年度 基本設計・実施設計、(運営者募集)

令和5年度 工事、(運営者募集)

令和6年度 施設の供用開始

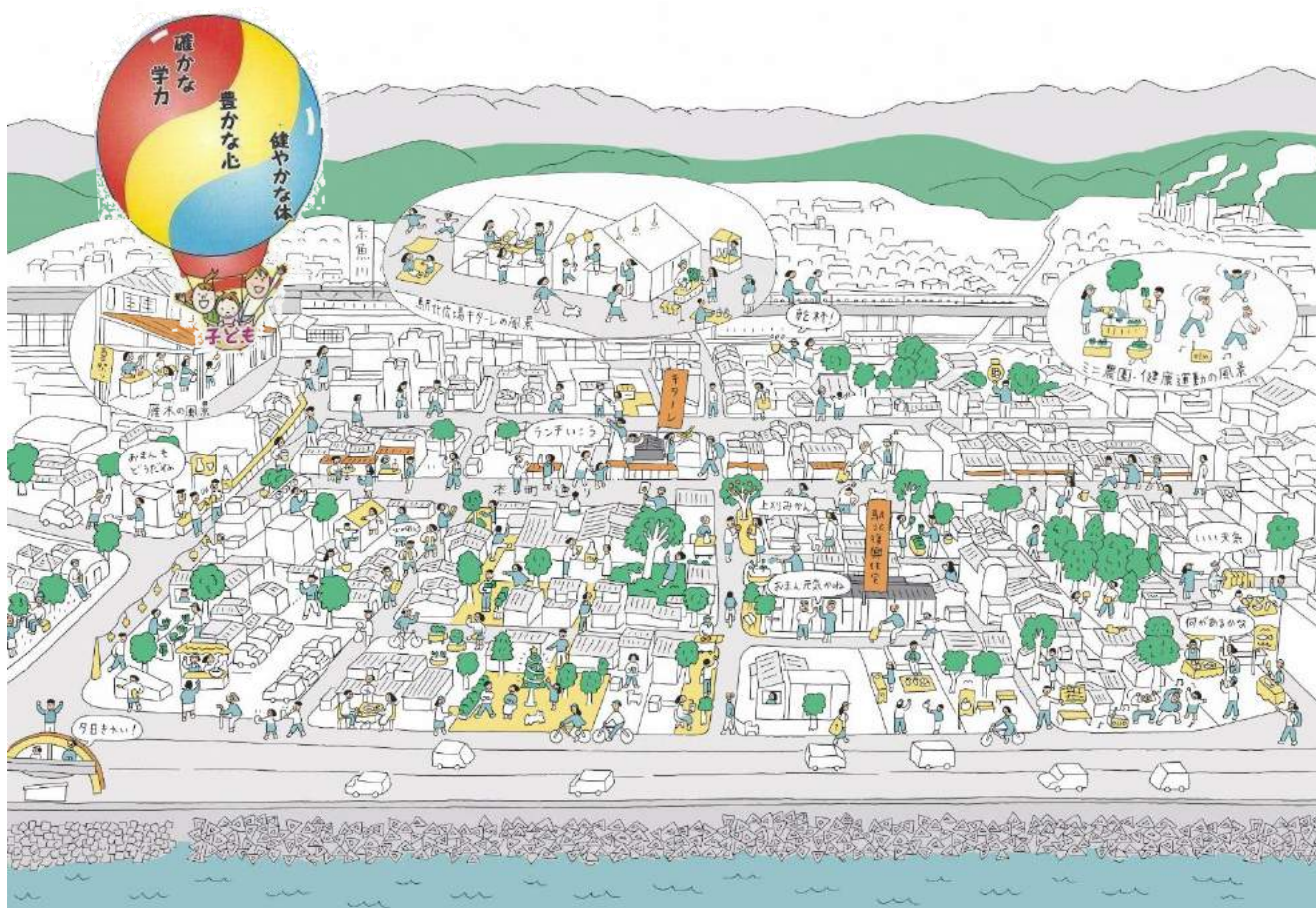


イラスト 駅北まちづくり戦略 駅北地区が目指す暮らしの風景
こども一貫教育方針 気球イラスト

問い合わせ先

〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1丁目2番5号

・糸魚川市 産業部 都市政策課 復興推進係

電話:025-552-1511 (内線 2371) FAX:025-552-7372

E-mail fukkou@city.itoigawa.lg.jp

・糸魚川市教育委員会事務局 こども課 子育て支援係

駅北子育て支援施設の検討状況 3巡目懇談の概要

- 1 実施期間 令和4年7月から8月まで
- 2 実施団体 18団体、107人
- (参考) 1巡目 令和3年5月から7月まで 13団体 72人
- 2巡目 令和3年9月から11月まで 18団体 196人
- 3巡計 延べ49団体 375人

3 主な意見等

項 目	意 見 等
子育て支援機能	・屋内遊戯場は、利用者の入場管理をして、安全に体を動かせる場であってほしい。 ・一時預かり保育の夜間利用は少ないと思われるが、急な一時預かりと土日等の対応は検討してほしい。 ・支援センターは開館日時を増やし、飲食できて安心して1日過ごせる場所になってほしい。
公共的機能	・図書コーナーは、新聞と雑誌等を読んだり、本を通じた企画等を行うことで、市民が入りやすい施設になるのではないか。 ・学習できるスペースは、キターレとの重複も気になるが、状況によって利用できないこともあるので、施設内に設置することとしても良いのではないか。 ・相馬御風ギャラリーでなく、バタバタ茶などの御風に関する場や御風関連施設への案内等をしてもらいたい。 ・多世代が交流できる場は、気兼ねなく入れて、外から中の様子がうかがえ、施設等の催し、お菓子等販売、自動販売機があり、飲食ができる見通しの良い場にしてほしい。
商業的機能	・民間事業者の出店は厳しいということは理解できるが、将来的に周辺にお店が出てくるようなにぎわいづくりに繋がることに期待したい。 ・地元の大町区では住民生活の向上が図れるミニコンビニを望んでおり、区のアンケートでも1番の要望となっている。
施設運営	・施設とともに運営側の企画を充実してもらいたい。 ・施設運営に携わる民間事業者には、商店街組合、地域と周辺施設運営者との連携、地元住民と一緒に企画運営を進めてもらうことが良いのではないか。 ・今ある関連事業を含め、子育て支援内容を検討しても良いのではないか。

【3巡目懇談会資料】

駅北子育て支援施設の検討状況について

1 経 過

昨年度の5月から11月までの間に子育て世代、自治会、経済団体、まちづくり団体等の延べ31団体、268人の皆様と懇談してきました。懇談のご意見等をもとに、次の点を変更し、基本計画を策定していきます。

○2巡目懇談からの変更点

- ・プレイルーム、敷地内駐車場を拡充
- ・妊産婦への支援窓口機能を追加
- ・多目的に利用できる空間（多世代が交流できる場、市民ギャラリー、相馬御風関連ギャラリー、図書コーナー、学習できるスペース）の検討
- ・上記の施設機能を確保するため、旧東北電力ビルを解体して事業敷地を拡大
- ・商業的機能は基本計画に含めない。

(1) ご意見をいただいた公共的機能に対する市の考え方

区 分	機 能	市の考え方
観 光	海を望む施設、石のまちPRコーナー	<u>基本計画には当該機能を含めずに検討</u> ・海を望む施設は、4階以上の高さがなければ海への眺望は望めず、また周辺住宅への日陰影響等から整備が難しい。 ・石のまちPRコーナーは、引き続き、総合観光拠点としてのジオパルを中心に、観光ガイド等の育成等の取組を進める中で機運の醸成を図る。
防 災	津波の避難場所、災害時の避難所、災害備蓄倉庫	<u>基本計画には当該機能を含めずに検討</u> ・既に駅北地区に整備されている施設や民間施設等で指定されている施設があり、一定数は確保できている。
教 育	図書館、学習室	<u>基本計画には当該機能を含めずに検討</u> ・整備の必要性を含めた今後の図書館の在り方検討を予定しており、現段階で新しい図書館（ハコ）を整備することは、時間的、規模的に難しい。ただし、図書コーナーは拡充を検討する。 ・学習室は、他の利用と合わせて学習ができる場所の確保を検討する。
集会、広場	高齢者支え合いセンター、高齢者対象の体操ができる場所	<u>多目的に利用できる空間と合わせて検討</u> ・子どもから高齢者までが集える催し等を通じて、多世代が交流できる場づくりを検討する。
文 化	相馬御風関連ギャラリー、市民ギャラリー	<u>多目的に利用できる空間と合わせて検討</u> ・多世代の利用を促し、御風宅など近隣施設との相互連携を検討する。

(2) ご意見をいただいた商業的機能に対する市の考え方

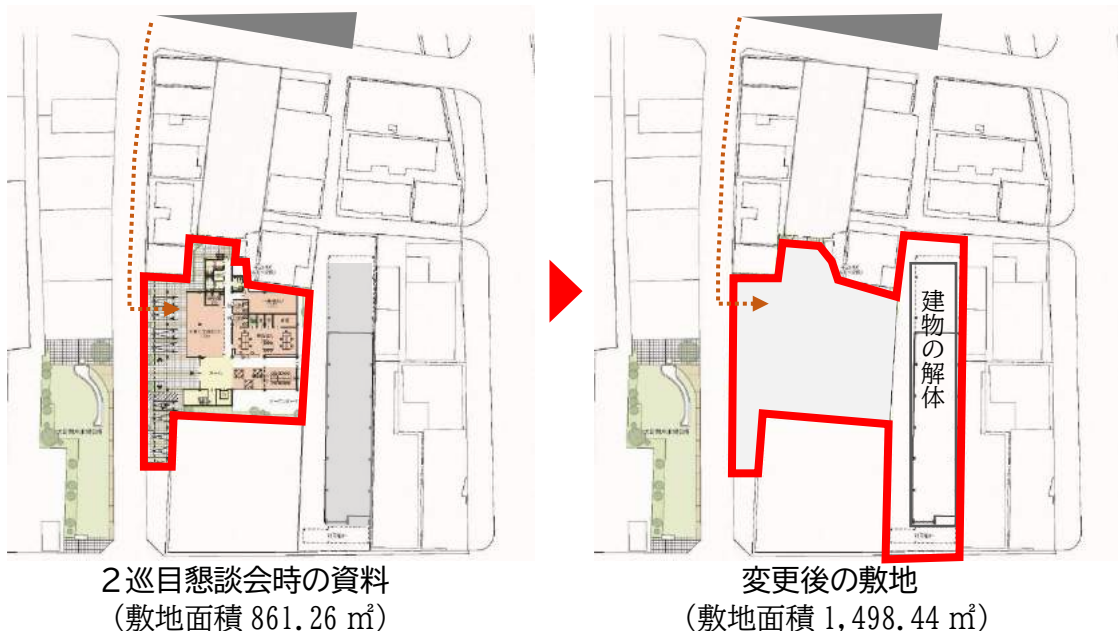
商業的機能	市の考え方
高齢者がお茶を飲み話せる場所、駄菓子屋、フードコート、こども食堂、フードバンク、母親の癒しスペース（ネイル、マッサージ等）、学校の購買のような場所（パン）、温浴施設、コンビニ、ブック&ランドリー、シェアオフィス、地区の利便性と居心地のよさを高めるためのコンビニ、カフェ	<u>基本計画には商業的機能を含めずに検討</u> ・民間事業者への聞き取り調査の結果から、当該施設に商業的機能が併設される可能性は低い。

(3) 民間事業者への聞き取り調査の意見等 （調査時の配布資料は別紙のとおり）

質問事項	意見等
立地条件等の評価	・駅前への立地について、好意的に評価する意見が多いが、人口規模や防災面（浸水、津波等）を懸念する意見もあった。
計画内容の評価	・収益事業の実施については、多くの事業者が商業や飲食の採算性と周辺の商店街への配慮から設置は厳しいとの意見 ・施設整備だけではなく、親同士のコミュニティづくり、多世代交流等の活動を一体で実施した方が良いのではないかと。 ・事業スケジュールは、どの事業者も原案で問題ない。 ・コロナ禍において、掃除や衛生管理等に時間と手間がかかっており、計画の職員配置人数では少ない。
事業参画の可能性	・事業（運営）期間は、参画形態によって様々だった。詳細が決まっていない状態のため、答えにくいという回答もあった。（参画形態による主な事業期間 DBO 方式等：10～20 年、指定管理：5 年又は 10 年程度） ・子育て支援施設の事業参画の可能性は、ほとんどの民間事業者が前向きな回答
市への提案と要望	・木造建築に期待する意見

(4) 事業敷地

施設機能の拡充をするため、旧東北電力ビルを解体して事業敷地を次のとおり拡大する。



2 基本理念等

「ひとみかがやく 子と親が 遊んで学べる場所」

糸魚川市駅北大火からの復興を見据えた中心地のにぎわいづくりに向けて、駅北地区において遊びと学びの場と活動を展開し、子どもたちがワクワクする遊び場、親が安心して気軽に交流できる場所に加え、多世代の地域交流等の場づくりを目指しています。



3 主な施設機能

(1) 子育て支援センター

～交流のきっかけや悩み相談ができる場所～

- ・ 3才未満の乳幼児と保護者の利用は 15 組/日を想定
- ・ 妊産婦の相談窓口を追加 **【追加】**



上越市オーレンプラザ プレイルーム(約 130 m²)

(2) 一時預かり保育 ～安心して子どもを預けられる場所～

利用は5人/日を想定。事前予約制とし、休日保育等の需要を見定めます。

(3) プレイルーム（遊戯場） ～安心して子どもが遊べる場所～ **【拡充】**

- ・ 0才から小学生の利用を想定し、ブロックなどの遊具備品で年齢層の自然なゾーニングにより遊びやすく、居心地の良い室内空間を提供
- ・ 天候に左右されず、家ではできない遊びができる場所として大きめの遊具（すべり台、ロープ遊具等）や、声を出して本を読める絵本・児童図書コーナーの設置
- ・ プレイルームで遊んでいる子どもを見通せる場所で、手洗い等の衛生設備がある飲食が可能なスペースを隣接して設置



上越市オーレンプラザ プレイエリア（約 450 m²）

(4) 検討が必要な多目的に利用できる空間（検討空間）

～様々な活動と多世代のコミュニケーションを育む場～

- ・市民ギャラリー・相馬御風関連ギャラリー【検討】
- ・学習できるスペース【検討】
- ・図書コーナー【検討】
- ・母親クラブ等の利用者団体等の活動の場
- ・地域で活動する団体等の会議利用
- ・多世代の活動スペース

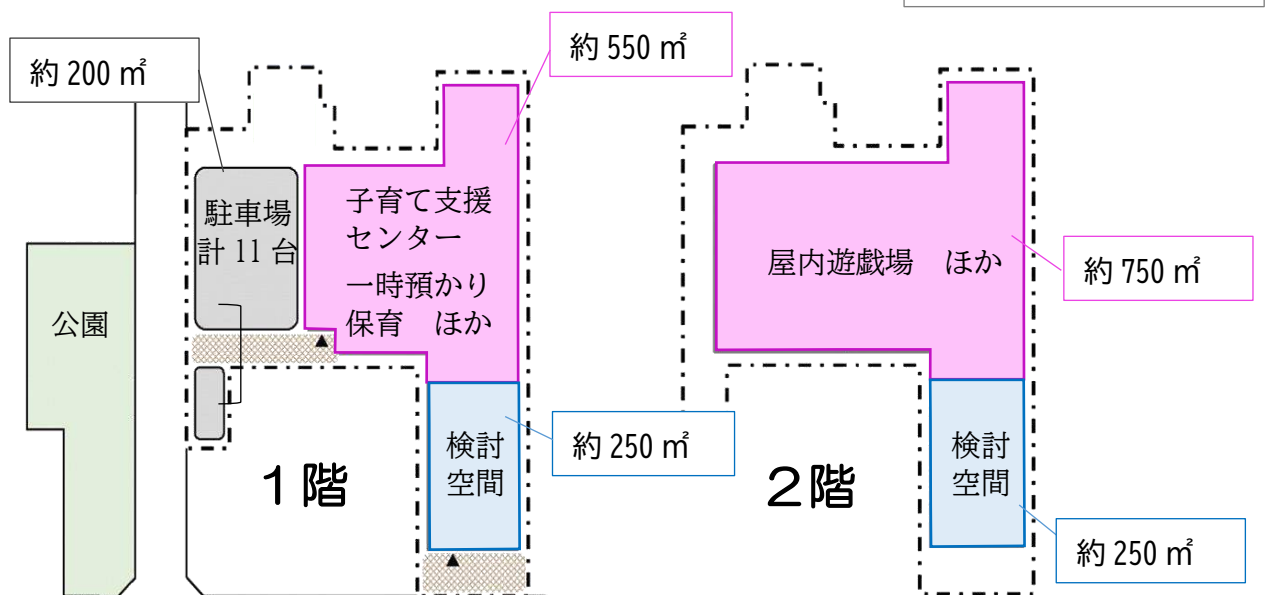


妙高市わくわくランドあらい 交流ラウンジ

(5) その他

- ・屋根付き駐車場【拡充】
- ・下足やベビーカーが室内に置ける出入スペース
- ・施設のバリアフリー
- ・景観への配慮
- ・木材（地場産材）の使用
- ・雁木整備
- ・運営と整備における民間活力の導入

4 施設平面図イメージ



【参考：市内集会施設等の広さ】

糸魚川地区公民館の3階ホール 約 250 m²
きらら青海カルチャールーム大 約 210 m²

能生生涯学習センター3階ホール 約 220 m²
駅北広場キターレホール 約 100 m²

5 今後のスケジュール

令和4年 7、8月 地区懇談（3巡目）
9月以降 計画の策定
民間事業者の公募

糸魚川市 産業部 都市政策課 ／ 糸魚川市 教育委員会事務局 こども課
所在地 新潟県糸魚川市一の宮一丁目2番5号
電 話 025-552-1511 FAX 025-552-7372(都市政策課)、025-552-8292 (こども課)
E-mail toshi@city.itoigawa.lg.jp (都市政策課)
kodomo@city.itoigawa.lg.jp (こども課)